

# KENWOOD

# RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

---

## 取扱説明書

## MDX-F1

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の『安全編』をお読みになり、十分にご理解ください。

使い方の説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO



株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

## 本機の特長

### MDレコーダーを装備

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを装備しています。CDからのデジタルコピーも簡単にできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能を搭載しています。

### CDプレーヤーとオートリバースカセットデッキを標準装備

MDレコーダーに加えCDプレーヤーとカセットデッキを搭載。さまざまな音楽ソースを楽しめる一体型ミニディスク パーソナル ステレオシステムです。

### 便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能。

- **ワンタッチ録音** : キーを押すだけでCD1枚または1曲を録音
- **プログラム録音** : 好きな曲を好きな順に録音

### ワンタッチオペレーション機能

電源がオフ(スタンバイ時)でも、CD ▶/III、MD ▶/III、TAPE ◀▶ キーまたは、TUNER FM/AM キーを押すだけで、電源がオンになり、再生(受信)します。

### 便利なタイマー機能

**目覚ましタイマー(O.T.T.)**: 1回限り働くタイマーです。

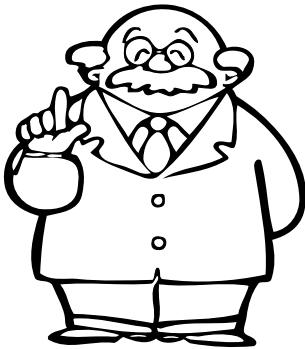
**2系統のプログラムタイマー**:

タイマー再生、タイマー録音、AIタイマー再生の設定ができます。

- AI タイマーはタイマーオンの後、徐々に音量が大きくなります。

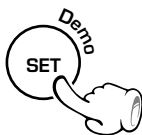
**おやすみタイマー**:

設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。



### デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の操作を行ってください。



デモ オフ  
DEMO OFF (デモンストレーション解除):

"DEMO ON" 中に "SET/Demo" キーを押す。

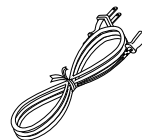
デモ オン  
DEMO ON (実行):

電源がオンの時に "SET/Demo" キーを押す。(2秒以上) (CD, MD, TAPE STOP 中)

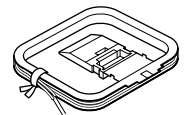
- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に "DEMO ON" になります。

### 付属品

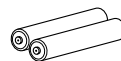
電源コード(1本)



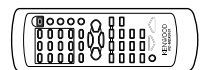
AM ループアンテナ  
(1個)



リモコン用単3乾電池  
(R6/SUM-3) (2本)



リモートコントロール  
ユニット(1個)



日本語表示シール(1枚)

# 目次

## 安全編

安全にお使いいただくために

⚠ 安全上のご注意 ..... 4

## 準備編

音を出す前に

⚠ 接続のしかた ..... 10  
 各部のなまえ ..... 11  
     本体部 ..... 11  
     表示部 ..... 12  
 リモコンの使いかた ..... 13  
 現在時刻を合わせる ..... 14

## 操作編

操作のしかたがわかります

音を出してみましょう ..... 15  
     基本的な使いかた ..... 15  
     ヘッドホンで聴く ..... 15  
     低音と高音の調整 ..... 16  
     AUTO POWER SAVE機能について ..... 17  
 CDを聴く ..... 18  
     曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) ..... 20  
     繰り返し聴く(リピート再生) ..... 21  
     ランダム再生を楽しむ ..... 22  
 MDを聴く ..... 23  
     聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ) ..... 25  
     タイトル表示について ..... 26  
     曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) ..... 27  
     繰り返し聴く(リピート再生) ..... 28  
 テープを聴く ..... 29  
     早送り・早戻しする ..... 30  
     再生を止める ..... 30  
     リバースモードを選ぶ ..... 30  
     TAPE E.Q.を選ぶ ..... 30  
 ラジオを聴く ..... 31  
     放送局を自動的に記憶させる(FM/AM) ..... 31  
     放送局を選ぶ ..... 32  
     放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) ..... 33

録音してみましょう ..... 34  
     MDに録音する ..... 34  
     テープに録音する ..... 36  
 便利な録音あれこれ ..... 38  
     ワンタッチ録音(CD MD/CD TAPE) ..... 38  
     プログラム録音(CD MD/CD TAPE) ..... 39  
     プログラム録音(MD TAPE) ..... 40  
 MDの編集機能 ..... 41  
     ミニディスクや曲にタイトルをつける ..... 41  
     タイトルを変更、消去する ..... 43  
     曲順をまとめて移動する(QUICK MOVE) ..... 44  
     曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE) ..... 45  
     曲を分ける(TRACK DIVIDE) ..... 46  
     曲をつなぐ(TRACK COMBINE) ..... 47  
     1曲消す(TRACK ERASE)または全曲消す(ALL ERASE) ..... 48  
     タイマーを使う ..... 50  
         目覚ましタイマー(O.T.T.)を設定する ..... 50  
         プログラムタイマーを設定する ..... 51  
         タイマーの実行と解除 ..... 53  
         おやすみタイマー(SLEEP) ..... 53

## 知識編

知っているると何かと便利です

知っておきましょう ..... 54  
     メンテナンス ..... 54  
     参考 ..... 55  
     ディスクの取り扱いかた ..... 56  
     カセットテープについてのご注意 ..... 57  
     デジタル録音とSCMSについて ..... 57  
 故障かな?と思ったら ..... 58  
 保証とアフターサービス (よくお読みください) ..... 62  
 ⚠ 定格 ..... 63

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。  
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

# 警告

## 交流 100 ボルト以外の電圧で 使用しない



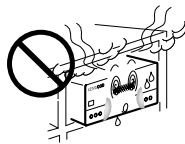
この機器は、交流100ボルト専用です。  
指定以外の電源電圧で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。

## 放熱に注意



設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。  
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

## 風呂、シャワー室では使用しない



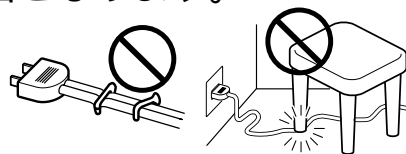
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



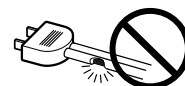
## 電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



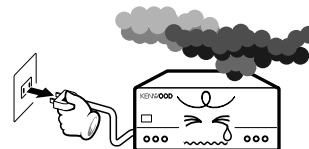
電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



**電源プラグは清潔に**



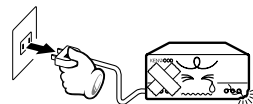
電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



**落下した機器は使わない**



機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



**ケースを絶対に開けないでください**



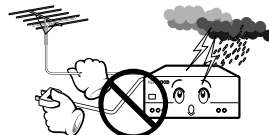
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



**雷が鳴り始めたら**



アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



**機器の内部に水や異物を入れない**



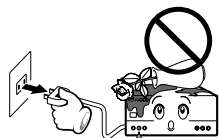
機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



**電池は放置しない**



電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

**乾電池は充電しない**



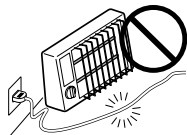
乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



# ⚠ 注意

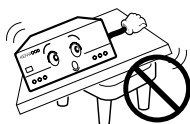
## 電源コードを熱器具に近づけない

- ⊘ 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけないでください。  
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



## 不安定な場所には置かない

- ⊘ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



## 湿気やほこりのある場所に置かない

- ⊘ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
火災・感電の原因となります。



## 温度の高い場所には置かない

- ⊘ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

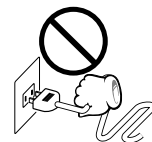


## 電源プラグの抜き差しは

- ⊘ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。

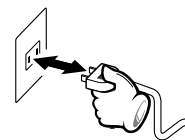
- ⊘ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。  
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。

- ⚠ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



**長期間使用しないときは**



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

**指定以外のコードを使わない**

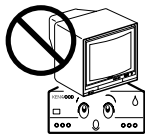


関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。  
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

**指定機器以外の物を乗せない**



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。  
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



**アンテナ工事**



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。  
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。  
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

**機器に乗らない**



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。  
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



**指をはさまない**



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。  
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

**レーザー光源はのぞかない**



レーザー光源をのぞき込まないでください。  
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

**ひび割れディスクは使わない**



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。  
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



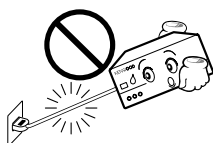
# ⚠ 注意

## 音量に気をつけて

- ❗ はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。  
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。  
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

## 移動させる際は

- ➡ 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。  
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



## 電池の取扱い

- ❗ 電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。  
次のことを、必ず守ってください。  
● 極性表示（プラス "+" とマイナス "-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。
- 液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## お手入れの際は

- ➡ お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電の原因となることがあります。



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。



## 注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。  
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

## マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。

→ 58

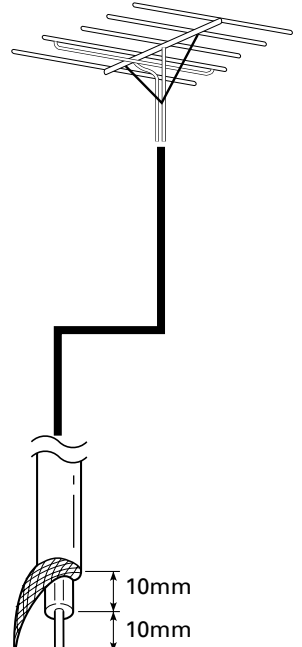
## FM屋外アンテナ(市販品)

受信状態が悪いときは75 同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75端子に接続します。

## AMループアンテナ

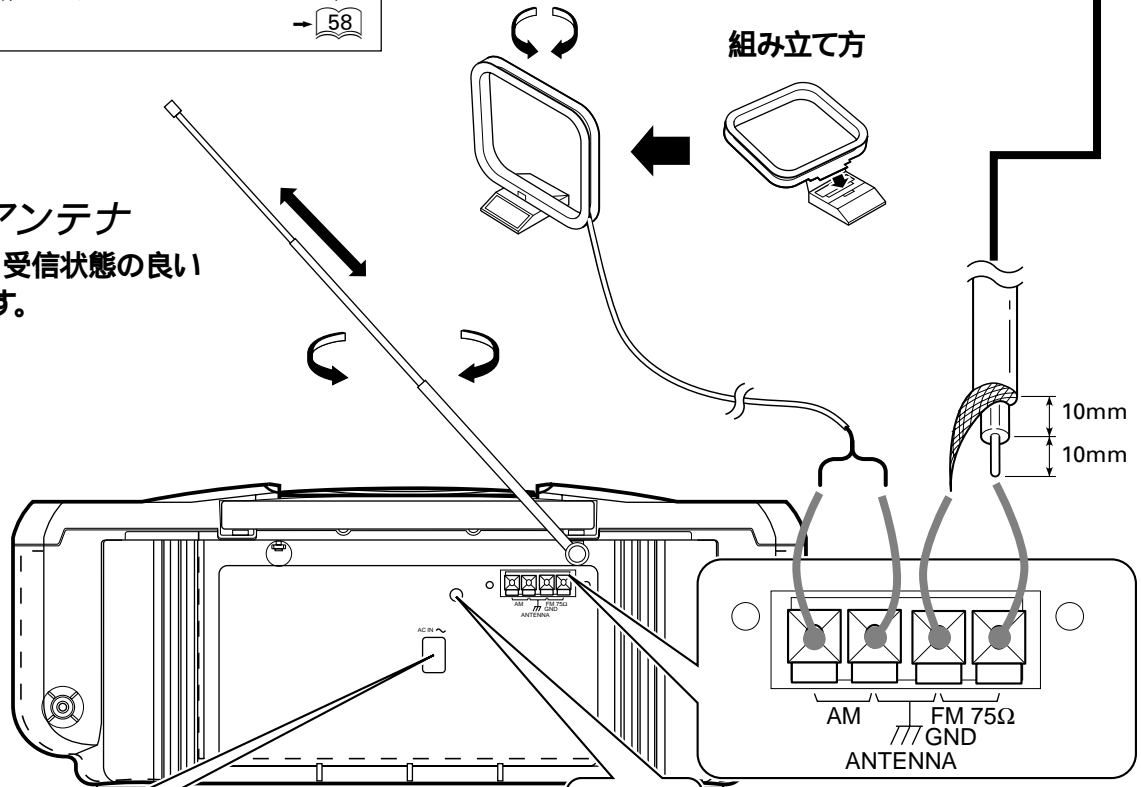
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

## 組み立て方



## FMロッドアンテナ

引き伸ばして、受信状態の良い方向に向けます。



AC IN ~

## 電源コード

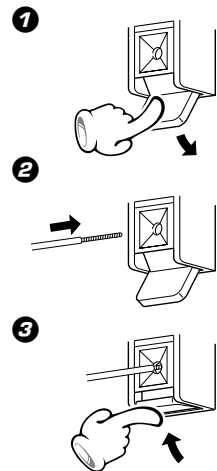
AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ

PHONES

## ステレオミニプラグ付ヘッドホンの接続(別売品)

スピーカーで聴くときは、ヘッドホンがPHONES端子から外してください。

## アンテナ線の接続



## ご注意

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店、または専門の技術者にご依頼ください。
- 本機をテレビの近くに置くと、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。

# 各部のなまえ

MDX-F1 [JA]

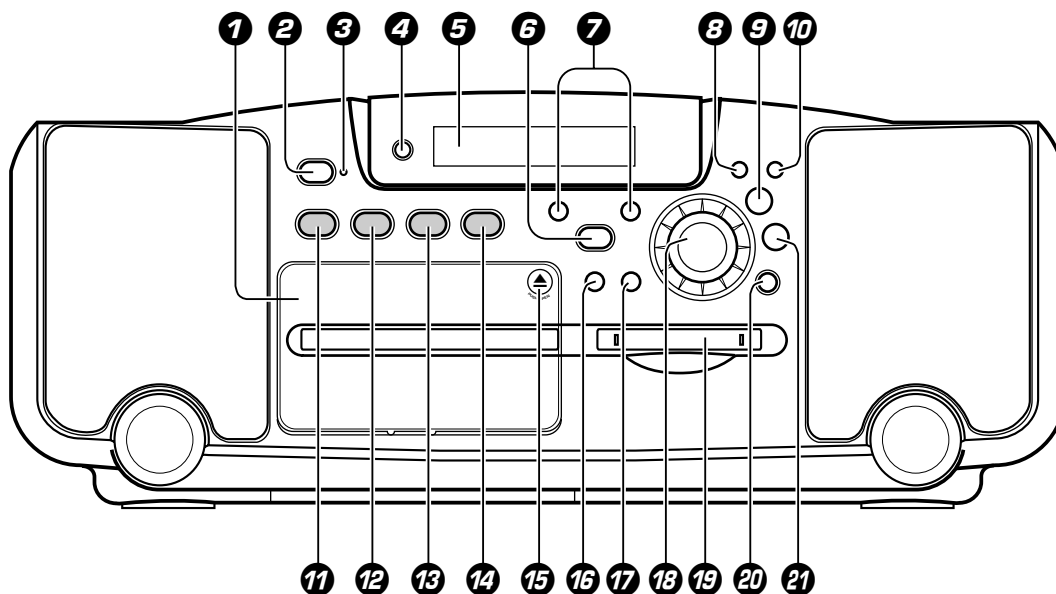
## 本体部

### 上面部



プッシュ オープン  
PUSH OPEN ボタン  
( CDの取りだし ) → 18

### 前面部



- |   |                          |  |                |
|---|--------------------------|--|----------------|
| ① カセットホルダー  | → 29                     | ⑫ CD ▶/  キー ( CD聴く )   | → 18           |
| ②   / ⏻ (POWER)キー ( 電源 )  | → 14                     | ⑬ MD ▶/  キー ( MD聴く )   | → 23           |
| ③ STANDBY/TIMER表示灯<br><small>スタンバイ タイマー</small>                             | → 14 → 53                | ⑭ TAPE ◀▶ キー ( テープ聴く )   | → 29           |
| ④ リモコン受光部   |                          | ⑮ PUSH OPEN ボタン ( テープ取りだし )  | → 29           |
| ⑤ 表示部   |                          | ⑯ TAPE RECキー ( テープ録音 )   | → 36           |
| ⑥ (■)STOPキー ( CD/ MD/ TAPE/ TUNING MODE )<br><small>ストップ</small><br>( 止める ) | → 14 → 19 → 24 → 30 → 32 | ⑰ MD RECキー ( MD録音 )  | → 34           |
| ⑦ ◀◀ / ▶▶ キー ( 戻す 進める )   | → 19 → 24 → 30           | ⑱ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみ<br><small>ボリューム マルチ コントロール</small><br>( 音量大きく、音量小さく ) | → 12 → 14 → 15 |
| ⑧ SOUNDキー<br><small>サウンド</small>  | → 16                     | ⑲ ミニディスク投入口  |                |
| ⑨ MENUキー<br><small>メニュー</small>   | → 12 → 14                | ⑳ EJECT(▲)キー ( MD取りだし )<br><small>エジェクト</small>                                  | → 24           |
| ⑩ REPEATキー<br><small>リピート</small>   | → 21                     | ㉑ SET/ Demoキー<br><small>セット デモ</small>   | → 2 → 12 → 14  |
| ⑪ TUNER FM/AM キー ( ラジオ聴く )<br><small>チューナー</small>                          | → 31                     |  |                |

### ワンタッチオペレーション機能について

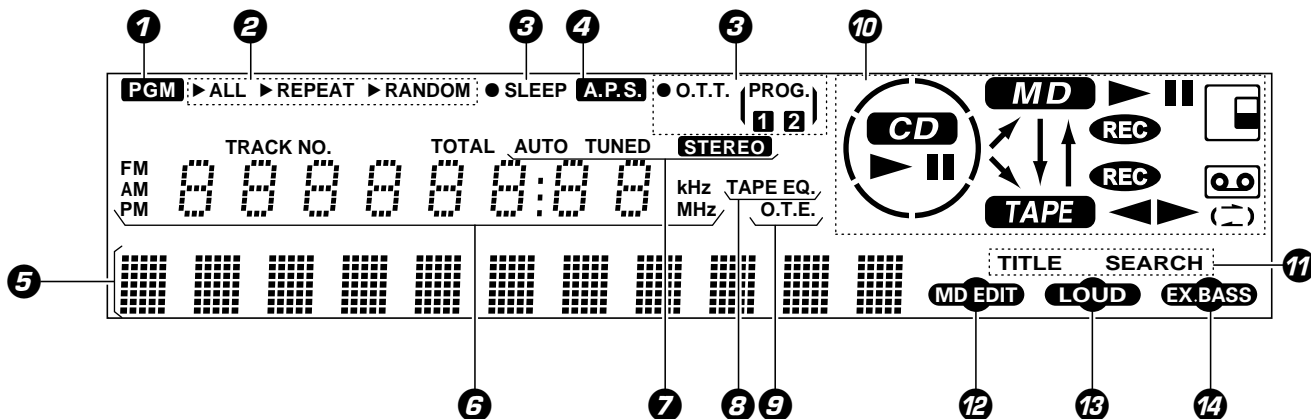
本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。  
スタンバイ状態のとき、    内(⑩~⑭)の各操作キーを押すと、すぐに再生(受信)します。

本機には見やすい日本語表示シールが添付されています。

    の表示がある各キーの近くに貼ってお使いください。

# 表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。



① PGM(プログラム)表示

② CD、MD関連表示

③ タイマー関連表示

④ A.P.S.(オートパワーセーブ)表示

⑤ 文字情報表示部(ドット表示部)

入力切換、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、など  
色々な文字情報を表示します。

⑥ 文字情報表示部

周波数表示、時間表示、トラックNo、プログラムNo、などを  
表示します。

⑦ チューナー関連表示

⑧ TAPE EQ.表示

⑨ O.T.E. (One Touch Edit)表示

ワンタッチ録音をするときに表示されます。

⑩ 各セレクト関連表示

⑪ TITLE SEARCH表示

⑫ MD EDIT表示

⑬ LOUD表示

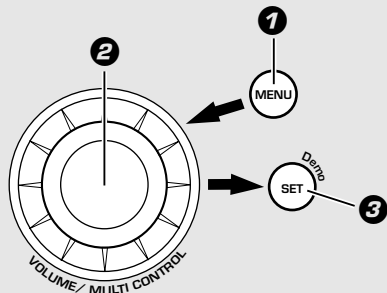
⑭ EX.BASS表示

## ボリューム/マルチコントロールつまみについて(本体部)

① MENUキーを押す。

② VOLUME/MULTI CONTROLつまみを廻し項目を選ぶ。

③ SET/Demoキーで各項目の選択や確定をします。



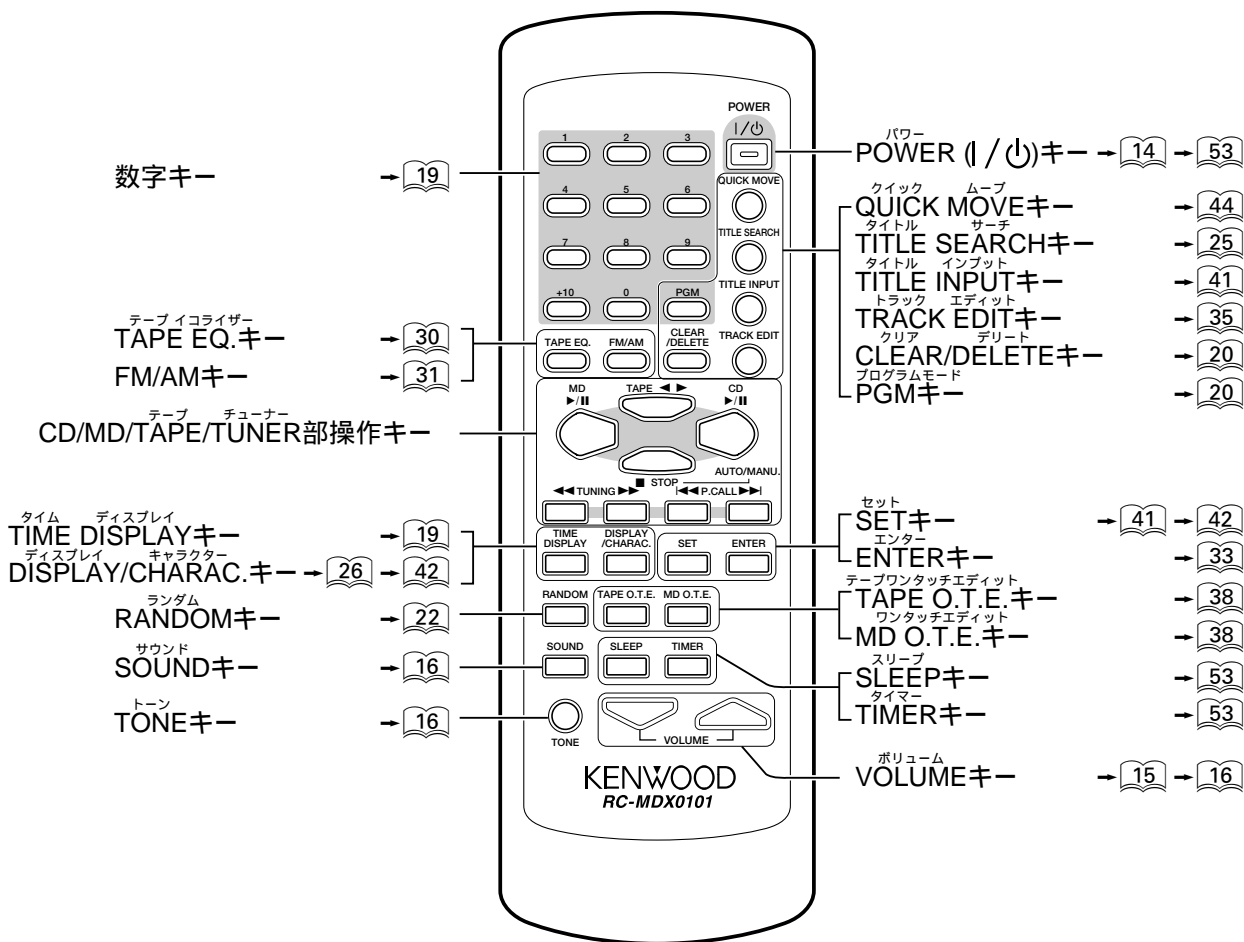
廻すたびに表示が切り換わります。

→	TAPE RVS.	?	→ 30
→	REC MODE	?	→ 38
→	AUTO PRESET	(TUNERのみ)	→ 31
→	TIMER SET	?	→ 50
→	A.P.S. SET	?	→ 17

● 5秒間操作しないと通常モードに戻ります。

# リモコンの使いかた

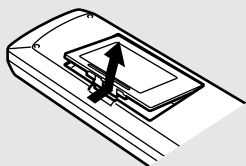
本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



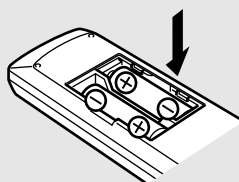
準備編

## 電池の入れかた

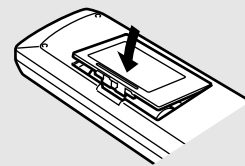
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



- 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

## 操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの POWER (I / 〇) キーを押すと、電源がオンになります。

電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度 POWER (I / 〇) キーを押します。

"STANDBY/TIMER" 表示灯のみが点灯するスタンバイ状態になります。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体から約6m、左右30°以内です。本体の正面に向けて、操作してください。



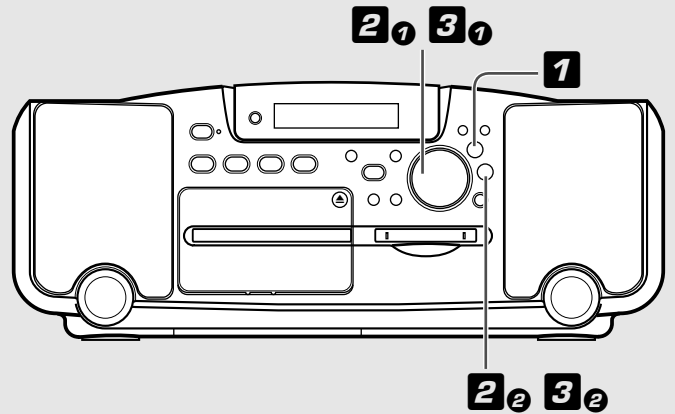
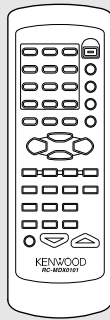
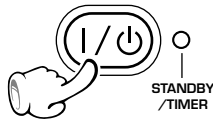
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯 (インバーター方式等) の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを使用してください。

### 準備

はじめに電源( I / 〇 )キーを押して電源を入れます。

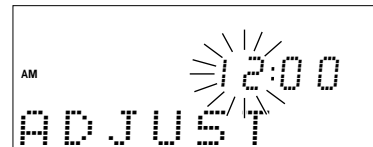
(本体)



## 1 メニュー MENUキーを2秒以上押す

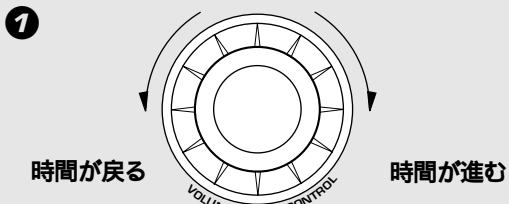


- 設定時は、CLOCK表示部が点滅を始めます。

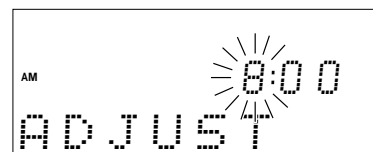


- 時間表示が点滅を始めます。

## 2 "時"を合わせる

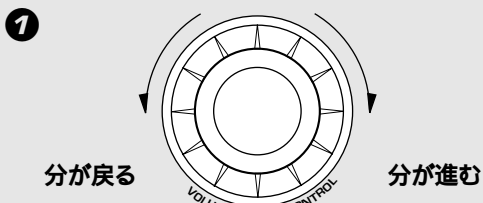


8時7分に合わせる例

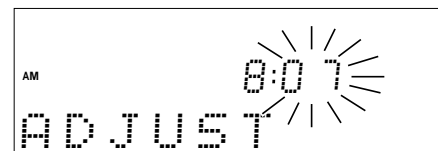


- 時間は12時間表示で表示されます。
- "SET/Demo" キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

## 3 "分"を合わせる



8時7分に合わせる例



- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に SET/Demo キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 10分以上停電があったり、電源プラグを10分以上コンセントから抜いたときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- SET/Demo キーを押して、設定が終了すると、"COMPLETE !" と表示します。
- 時刻合わせが済むと ":" (コロ) が点滅します。

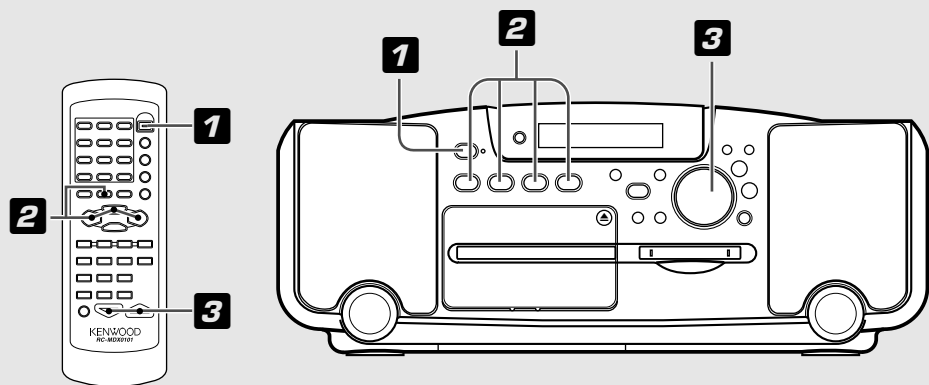
時刻表示をさせるには  
(スタンバイ状態のとき)



# 音を出してみましょう

## 基本的な使いかた

スタンバイ状態について  
本機のスタンバイインジケータ  
が点灯中は、メモリー保護のた  
め、微弱な通電を行っています。  
これをスタンバイ状態といいま  
す。このとき、リモコンで本機を  
オンできます。



### 1 電源 (I/⏻) キーを押し電源を入れる

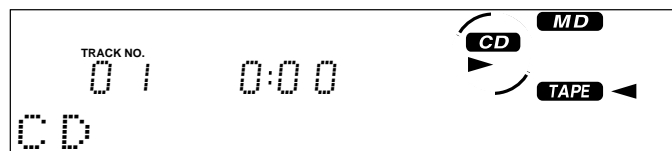
電源がオンのときに電源 (I/⏻) キーを押すとオフになり、"**STANDBY/TIMER**" 表示灯が赤色に点灯します。

タイマー: 目覚まし (O.T.T.)、<sup>プログラム</sup> PROG 1、2 オンの時は黄色に点灯します。 → 53

- CD ▶/⏮ MD ▶/⏮ TAPE ◀◀ キーまたは、<sup>チューナー</sup> TUNER FM/AM キーを押しても、電源がオンになり、再生 (受信) します。(ワンタッチオペレーション機能)

### 2 聴きたいものを選ぶ

- |        |                     |      |
|--------|---------------------|------|
| CDを聴く  | ; CD ▶/⏮ キーを押す      | → 18 |
| MDを聴く  | ; MD ▶/⏮ キーを押す      | → 23 |
| テープを聴く | ; TAPE ◀◀ キーを押す     | → 29 |
| ラジオを聴く | ; TUNER FM/AM キーを押す | → 31 |

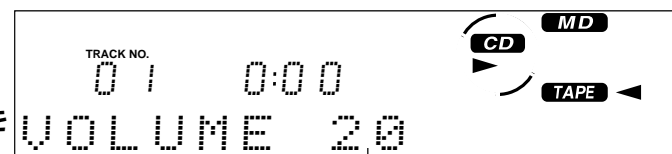
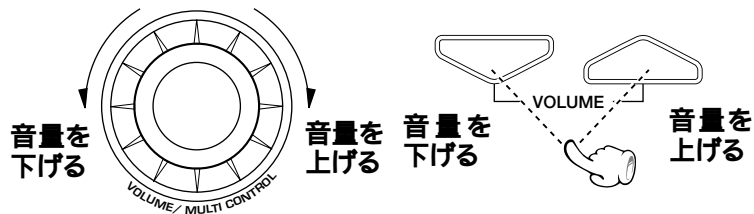


CDを選んだとき

### 3 音量を調節する

(本体)

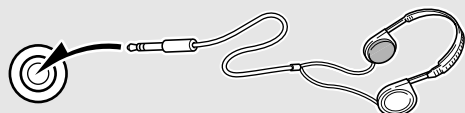
(リモコン)



音量の表示

### ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを背面の"<sup>ホンズ</sup>PHONES"端子に差し込む。



PHONES

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

## 低音と高音の調整

### 低音と高音をワンタッチで強調する

エクストラ バス  
"EX. BASS"(エクストラバス) : 音量にかかわらず低音域を強調します。

LOUDネス  
"LOUD"(LOUDネス) : 音量に合わせて低高音域を強調します。  
(小音量時に有効です)



押すたびに切り換わります。

- ① "EX. BASS" 点灯
- ② "LOUD" 点灯
- ③ 消灯 ... "TONE"(下記)で調整してある音になります。

### 低音と高音を細かく調整する(リモコンのみ)

#### ① TONEキーを押す



(5秒以内に手順②へ)

押すたびに切り換わります。

- ① "BASS"<sup>バス</sup>(低音域)を調整

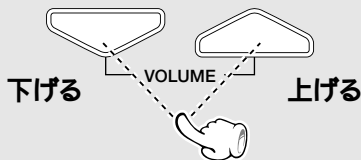
BASS -6

- ② "TREBLE"<sup>トレブル</sup>(高音域)を調整

TREBLE +4

- ③ 通常状態

#### ② ボリューム VOLUMEキーで調整する



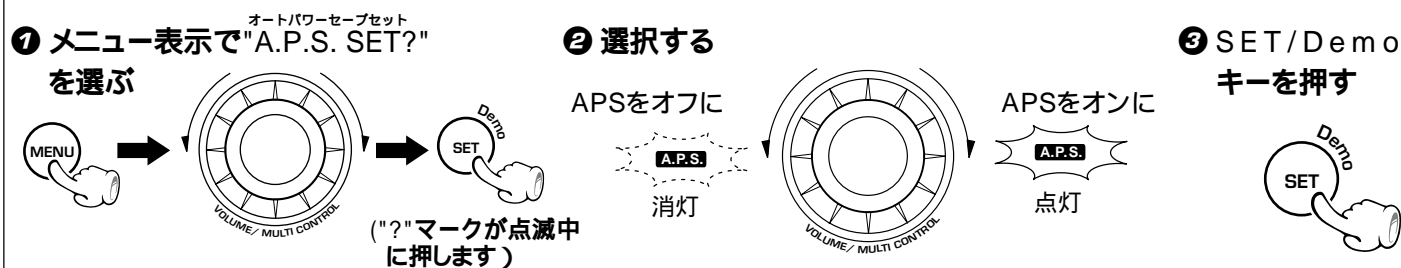
- "BASS"、"TREBLE"とも2ステップ毎に、-8 ~ +8の範囲で調整できます。
- "LOUD"または"EX.BASS"表示が点灯中に音質の調整をすると、"LOUD"または"EX.BASS"は解除されます。  
( "LOUD"、"EX.BASS"と"TONE"の同時使用はできません )



オート パワー セーブ  
**AUTO POWER SAVE機能について**

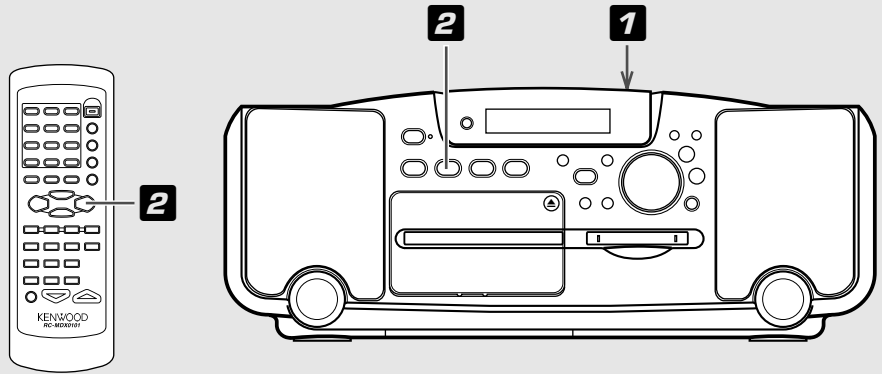
電源がオンで、CD、MD、TAPEのすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作でオン/オフを選べます。

- 入力がTUNERチューナーのときは、音量がゼロのときに限り働きます。





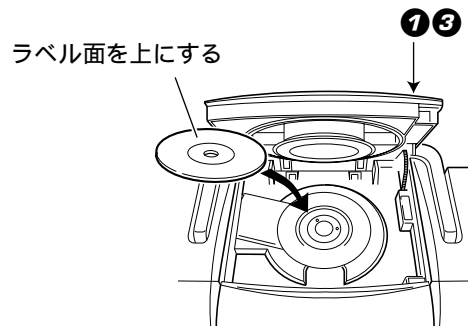
CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ▶/||キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



## 1 ディスクを入れる

- ① 上ぶたを開ける( プッシュ オープン PUSH OPEN ボタンを押す )
- ② ディスクを入れる
- ③ 上ぶたを閉める

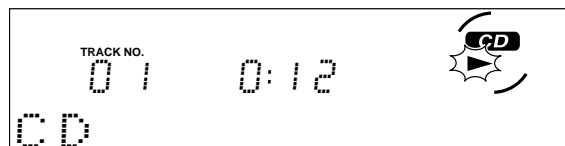
- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。



### ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、故障する原因となることがあります。

## 2 再生を始める



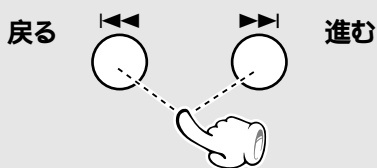
- 数秒後に1曲目から再生します。
- 再生中は音飛びの原因になりますので、上ぶたをたたかないでください。

## 一時停止する



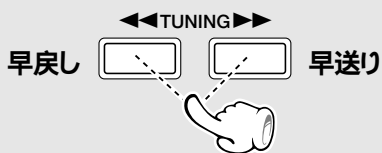
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

## 曲を飛び越す



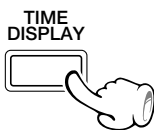
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

## 早送り・早戻しする(リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

## CDプレーヤーの時間表示について (リモコンのみ)



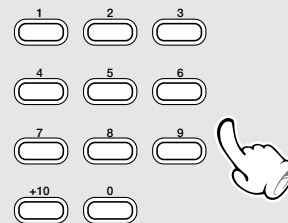
タイム ディスプレイ  
TIME DISPLAY キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 (再生中の曲の経過時間)
- ② - 2:37 (再生中の曲の残り時間)
- TOTAL
- ③ 2:345 (ディスク全体の経過時間)
- TOTAL
- ④ - 36:15 (ディスク全体の残り時間)

- リピート再生時やランダム再生時には、①と②のみ表示します。

## 好きな曲から聴く(リモコンのみ)

### 曲を選ぶ

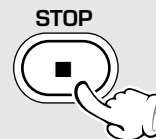


### 数字キーを押す順序は

23曲目なら ..... [+10] [+10] [3]  
40曲目なら..... [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- "PGM"表示が点灯しているときは、CDを停止させ、リモコンのプログラムモードのPGMキーを押して、消灯させてください。

## 再生を止める



## ディスクを取り出す

- ディスクの停止を確認してから押して下さい。

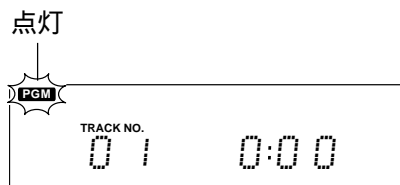


# 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

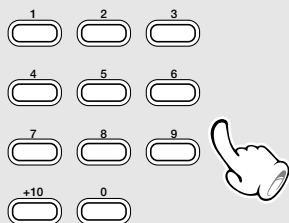
入力切換を"CD"にする。( ■キーを押して、停止状態にする) → 18

## 1 プログラム "PGM"表示を点灯させる



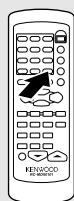
## 2 聴きたい順に曲を選ぶ

### ① 曲(トラック番号)を選ぶ

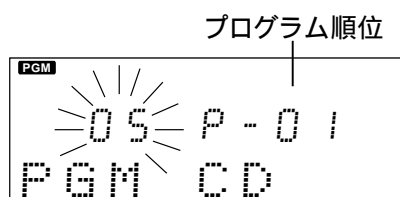


(8秒以内に手順②へ)

### ② 確定する



(2曲以上選ぶときは手順①、②を繰り返す)

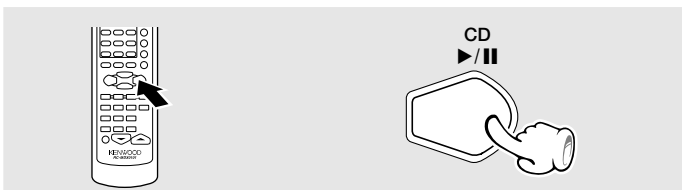


### 数字キーを押す順序は

23曲目なら: [+10] [+10] [3]  
40曲目なら: [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

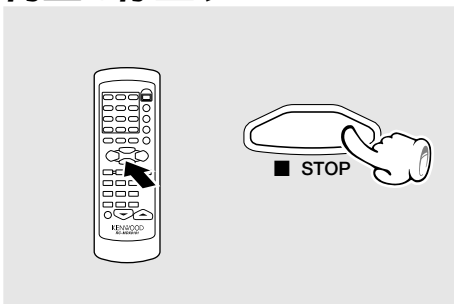
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、<sup>クリア</sup>CLEAR/DELETEキーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"- : - : -"になります。

## 3 再生する



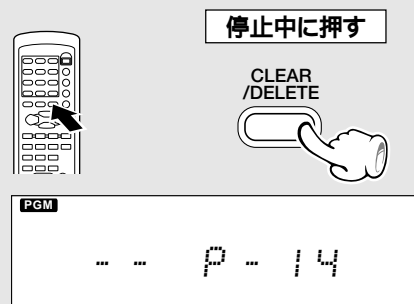
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

## 再生を停止する



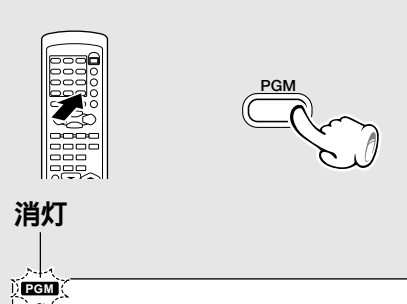
## プログラムした曲を取り消すには

### 後ろから順に消していく



- (P-14の曲が取り消されたとき)
- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

### 全部消す



- プログラムの内容が、全部消えます。

# 繰り返し聴く(リピート再生)

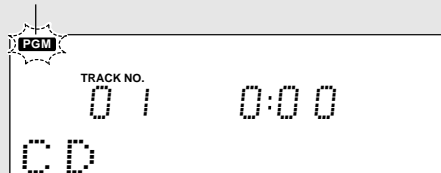
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。(REPEATキーは本体のみ)

入力切換を"CD"にする。 → 18

## 一曲、全曲を繰り返し聴く時の設定

- ① "PGM"表示の消灯を確かめる  
 ("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください)

消灯を確かめる



- ② "REPEAT"を選ぶ  
 リピート  
 押すたびに切り換わります。

REPEAT



- ① "REPEAT"  
 一曲を繰り返し再生
- ② "ALL REPEAT"  
 オール  
 全曲を繰り返し再生
- ③ 消灯.....リピート解除



点灯  
 一曲繰り返し再生



点灯  
 全曲繰り返し再生

## 選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

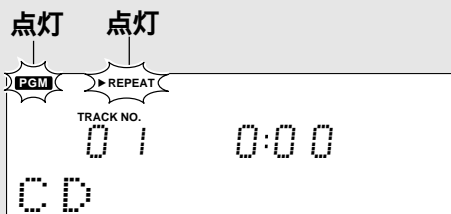
- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順④までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 20

- ② "REPEAT"を選ぶ  
 リピート  
 押すたびに切り換わります。

REPEAT



- ① "REPEAT"  
 選んだ曲全部を繰り返し再生
- ② 消灯.....リピート解除



- "REPEAT"、"PGM" が点灯します。

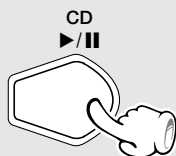
## 再生する

一曲リピートの時は、曲を選ぶ

→ 19



(リモコン)



(本体)



## 繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

- "REPEAT"、"ALL REPEAT"表示が消灯し、繰り返し再生が解除されます。

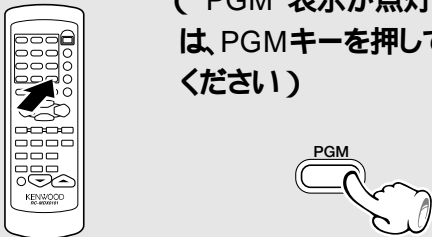
# ランダム再生を楽しむ

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。(リモコンのみ)

入力切換を"CD"にする。 → 18

## 1 プログラム "PGM"表示の消灯を確かめる


( "PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください )



消灯を確かめる



## 2 ランダム RANDOMキーを押す



押すたびに切り換わります。

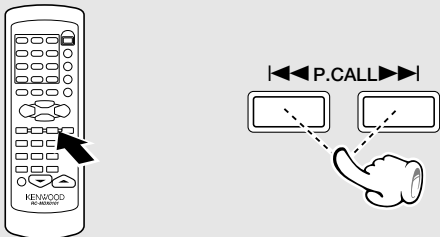
- ① "RANDOM"点灯 ..... ランダム再生する
- ② "RANDOM"消灯 ..... 通常の再生



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPERTキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

## 曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶ キーを押すと別の曲をランダムに選びます。

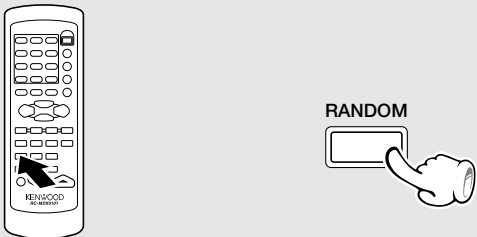


◀◀ P.CALL ▶▶

- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

## ランダム再生をやめるには

"RANDOM"表示を消灯させる。



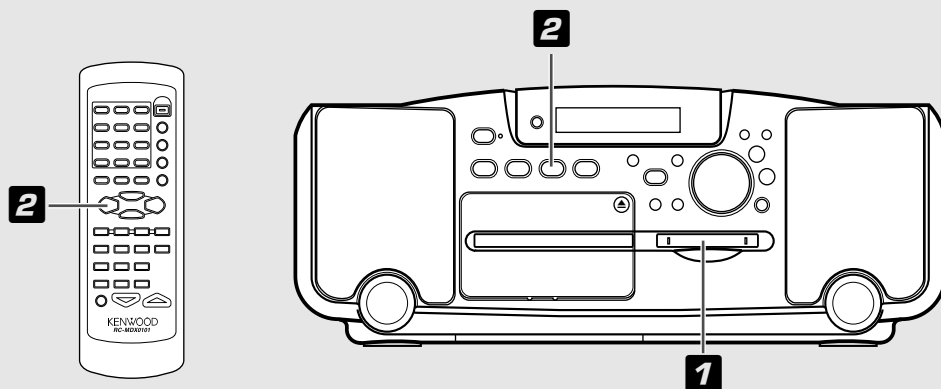
- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

# MDを聴く

MDX-F1 [JA]



MDレコーダーにあらかじめディスクを入れておくと、MD ▶/||キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

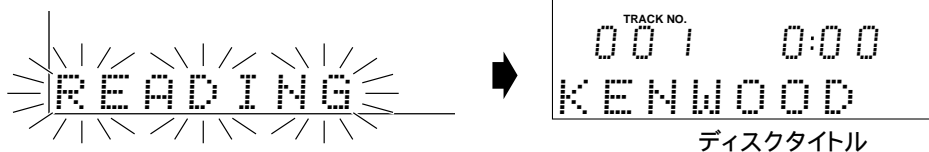


## 1 ミニディスクを入れる

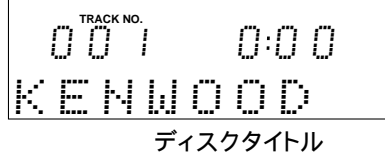
電源をオンにして、ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

- ディスクにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

表示が変わります



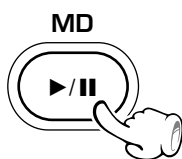
操作編



### 注意

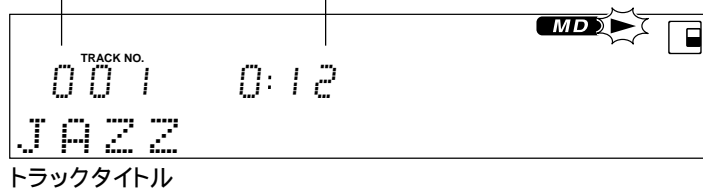
スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。  
スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れると、故障の原因となります。

## 2 再生を始める



- 数秒後に1曲目から再生します。

再生中のトラック番号      再生中の曲の経過時間

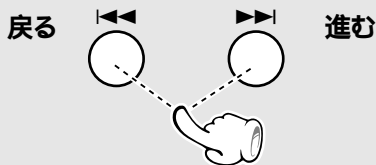


## 一時停止する



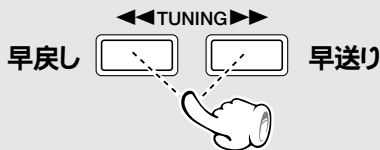
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

## 曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

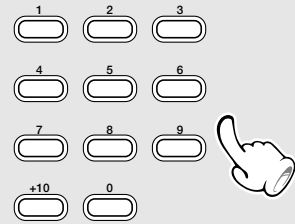
## 早送り・早戻しする(リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

## 好きな曲から聴く(リモコンのみ)

### 曲を選ぶ



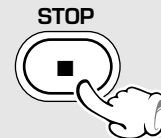
### 数字キーを押す順序は

23曲目なら ..... [+10] [+10] [3]

40曲目なら ..... [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- "PGM"表示が点灯しているときは、MDを停止させ、リモコンのPGMキーを押して、消灯させてください。

## 再生を止める

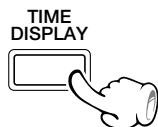


## ディスクを取り出す



- ミニディスクが排出されます。

## MDプレーヤーの時間表示について (リモコンのみ)



タイム ディスプレイ  
TIME DISPLAY キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

①	1 2 3	(再生中の曲の経過時間)
②	- 2:3 7	(再生中の曲の残り時間)
	TOTAL	
③	2 3:4 5	(ディスク全体の経過時間)
	TOTAL	
④	- 3 6:1 5	(ディスク全体の残り時間)

## モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最長160分)になります。



# 聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。  
(ミニディスクや曲にタイトルをつける - 41)

## 1 入力切換をMDにする



## 2 ■キーを押して、停止させる



プログラム  
●"PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

消灯させる



## 3 タイトルサーチ TITLE SEARCHキーを押す



(中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します)



曲のタイトル

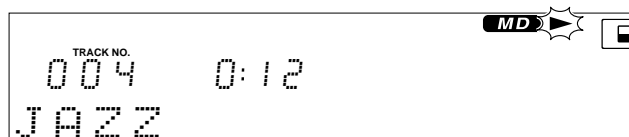
- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号(曲番)と「NO TITLE」が表示されます。
- 本体の ◀◀, ▶▶ キーでも曲を選ぶことができます。

## 4 ◀◀、▶▶キーで聴きたい曲を選ぶ



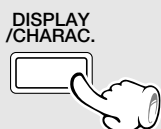
◀スクロール(左へ順次移動)表示

## 5 再生する



操作編

## タイトル表示について



MDのタイトルが、ドット表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。ドット表示部の表示モードを切り換えることができます。(下図)

(停止中、再生中に操作します)

押すたびに切り換わります。

① タイトル表示

KENWOOD

② タイトルをスクロール表示

NWOOD

(1回スクロール表示した後①に戻ります)

③ ②のタイトルスクロール表示中に押すと、MDの録音可能時間を表示

001 R54:32

(5秒経過すると①に戻ります)

- 曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、  
"NO TITLE"が表示されます。
- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます。)

(MDに録音中に操作すると)

押すたびに切り換わります。

① 録音している入力ソースを表示

CD

② MDの録音可能時間を表示

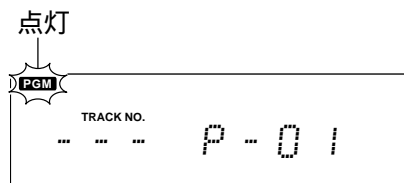
001 R54:32

# 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を、好きな順序で聴くことができます。(最大32曲)

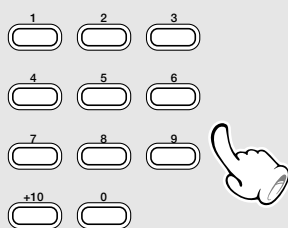
入力切換を"MD"にする。(■キーを押して、停止状態にする) → 23

## 1 プログラム "PGM" 表示を点灯させる



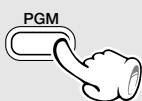
## 2 聴きたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

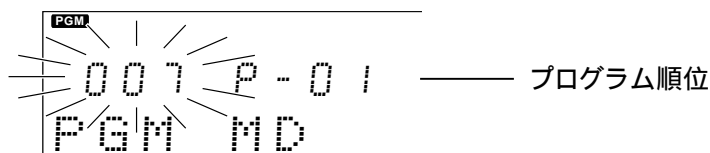


(8秒以内に手順②へ)

② 確定する



(2曲以上選ぶときは手順①、②を繰り返す)



数字キーを押す順序は

23曲目なら. [+10] [+10] [3]  
40曲目なら. [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

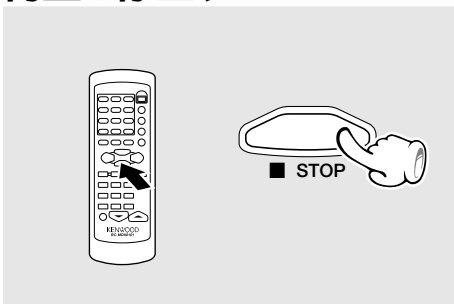
- 32曲まで選べます。<sup>フル</sup>"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、<sup>クリア</sup>CLEAR/DELETEキーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"- -: -"になります。

## 3 再生する



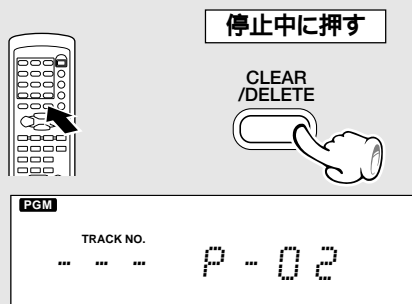
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

## 再生を停止する



## プログラムした曲を取り消すには

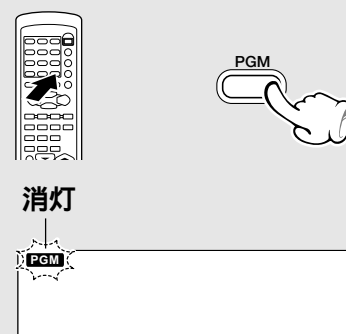
後ろから順に消していく



(P-02の曲が取り消されたとき)

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

全部消す



- プログラムの内容が、全部消えます。

# 繰り返し聴く(リピート再生)

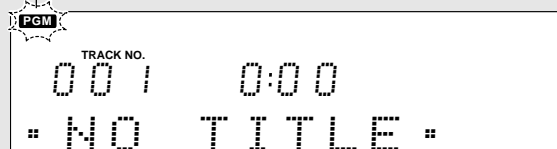
ディスク全曲やお気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。(REPEATキーは本体のみ)

入力切換を"MD"にする。 → 23

## ディスクを繰り返し聴く時の設定

- ① "PGM"表示の消灯を確かめる  
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください)

消灯を確かめる



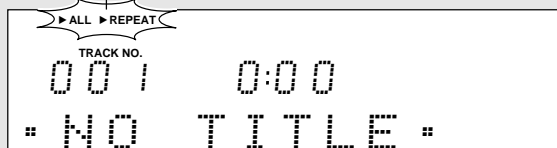
- ② "ALL REPEAT"を選ぶ  
押すたびに切り換わります。

REPEAT



- ① "ALL REPEAT"  
全曲を繰り返し再生
- ② 消灯.....リピート解除

点灯



## 選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 27

点灯 点灯



- ② "REPEAT"を選ぶ  
押すたびに切り換わります。

REPEAT

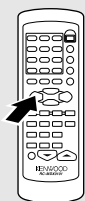


- ① "REPEAT"  
選んだ曲全部を繰り返し再生
- ② 消灯.....リピート解除

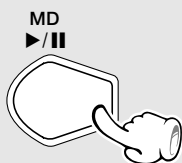
● "REPEAT"、"PGM" が点灯します。

## 再生する

(リモコン)



(本体)



## 繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

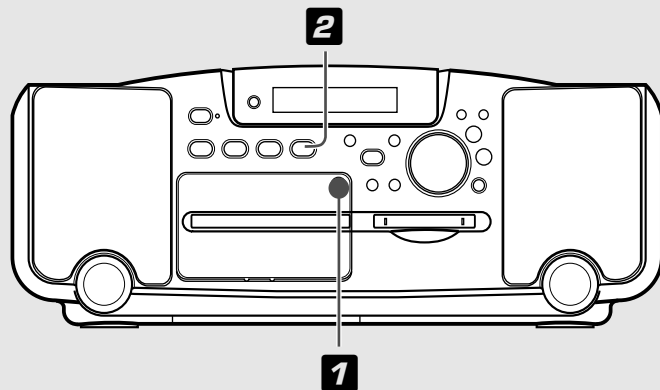
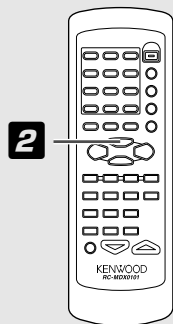
- "REPEAT"、"ALL REPEAT"表示が消灯し、繰り返し再生が解除されます。

# テープを聴く

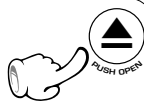
MDX-F1 (JA)



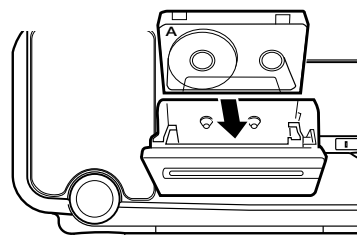
カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPE キー (◀、▶) を押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



## 1 カセットテープを入れる



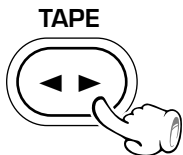
- ① カセットホルダーを開ける  
プッシュ オープン  
 ▲PUSH OPEN 表示部分を押します。
- ② テープを入れ、カセットホルダーを閉める



- ノーマル (TYPE I)、ハイ (TYPE II)、メタル (TYPE IV) のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。
- ドアは確実に閉めてください。
- 100分以上のテープは、大変薄く、巻きついたり、切れたり、トラブルが発生しやすいので、ご使用にならないで下さい。

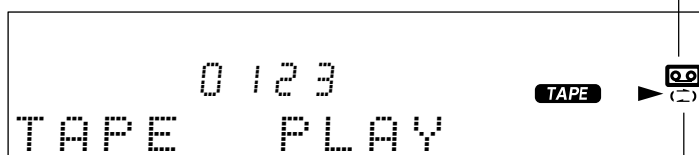


## 2 再生を始める



再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

デッキにテープが入っているときに表示されます



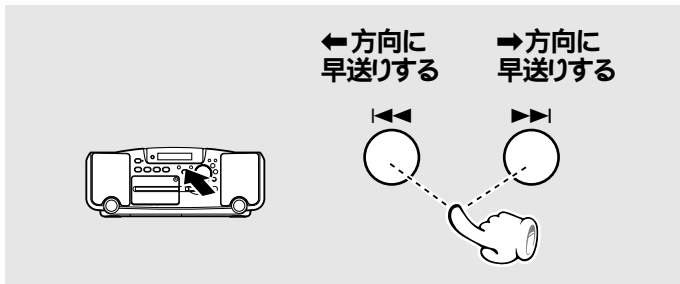
リバースモードの表示

### 走行方向について

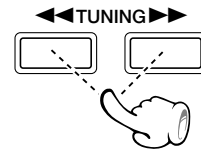
ワンタッチオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向は最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

(向きを変えるときは、再生中に、TAPE キー (◀、▶) を押してから停止キー (■) を押します)

## 早送り・早戻しする

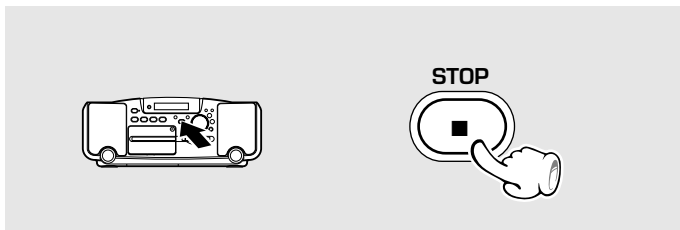


リモコンで操作するときは◀◀、▶▶ キーを押します。



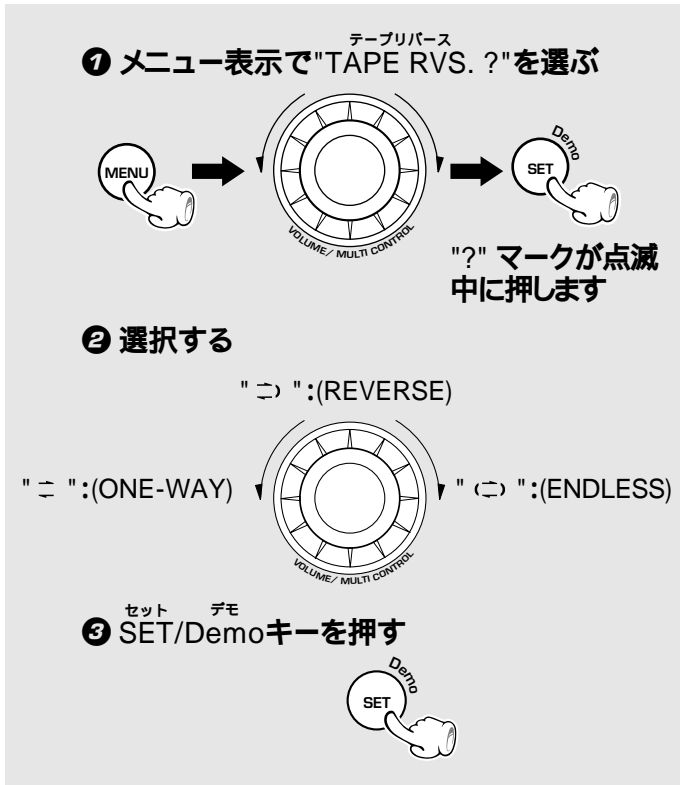
- 早送りを止めるときは、停止キー(■)を押してください。

## 再生を止める



- テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

## リバースモードを選ぶ(本体のみ)



テープのカウンター表示について(リモコンのみ)  
タイム ディスプレイ  
 TIME DISPLAY キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

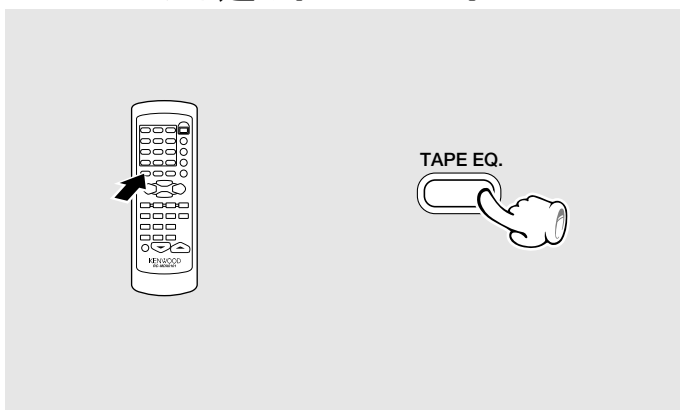
①	0000	(テープカウンター)
② AM	8:45	(時刻表示)

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておく、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が◀のとき)はカウンターの数字は減っていきます。

テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

- "⇐": (ONE-WAY) 片面のみを再生(録音)して止まる
- "⇐": (REVERSE) 両面を再生(録音)して止まる (初期設定)
- "⇐": (ENDLESS) 両面をエンドレス再生する  
両面を録音して止まる

## テープ TAPE EQ. を選ぶ(リモコンのみ)



ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。(ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)

テープイコライザーが  
オンのとき点灯



押すたびに切り換わります。

- ① "TAPE EQ." 点灯 ... テープイコライザーを使う
- ② "TAPE EQ." 消灯 ... テープイコライザーを使わない

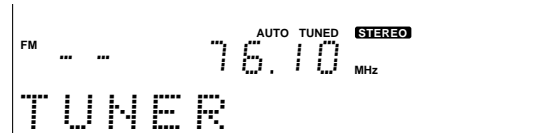
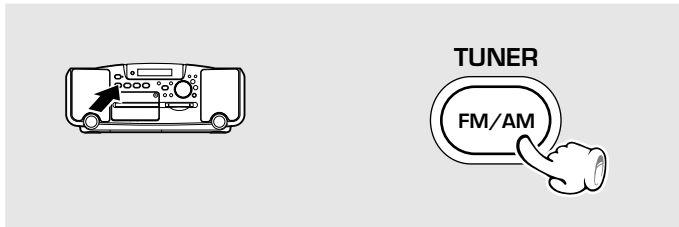
- 高音域のノイズの低減に有効です。

# ラジオを聴く

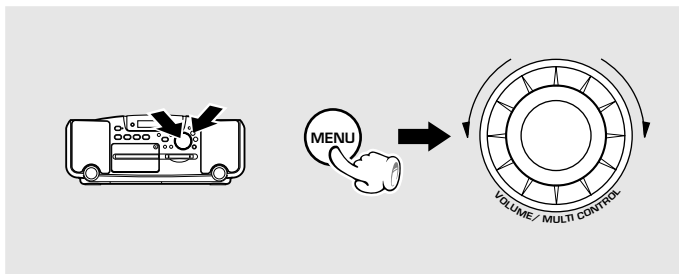
## 放送局を自動的に記憶させる (FM/AM)

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。

### 1 入力切換を<sup>チューナー</sup>TUNERにする



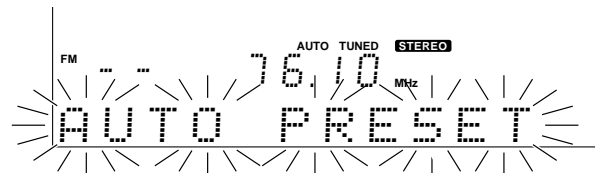
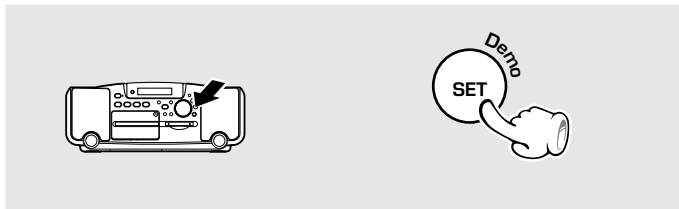
### 2 オートプリセット "AUTO PRESET"を選ぶ



廻すたびに表示が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
<b>AUTO PRESET</b>	<b>(TUNERのみ)</b>
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

### 3 セットデモ SET/Demoキーを押す



オートプリセット中は表示部に" AUTO PRESET "が点滅しています。

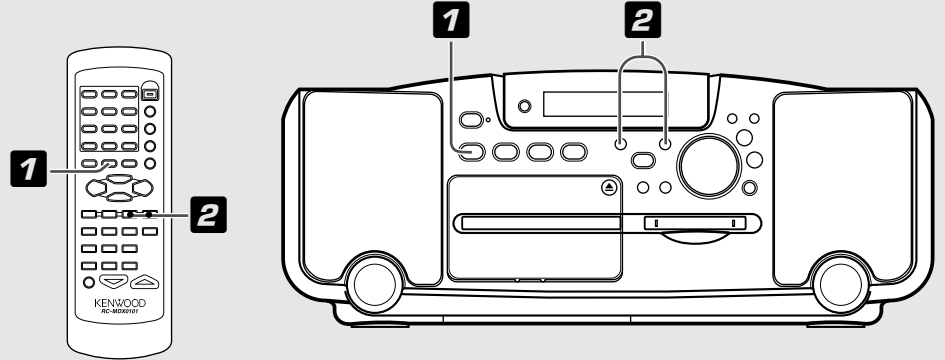
- 先にFM局からメモリーし、次にAM局をメモリーします。
- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合もあります。
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局が表示されます。

# 放送局を選ぶ

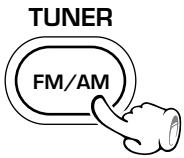


チューナー "TUNER FM/AM" キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



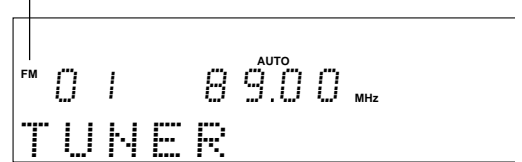
## 1 チューナー TUNER FM/AMキーを押し、放送バンドを選ぶ



一回押すとチューナーに切り換わります。チューナーに切り換わったあと、押すたびに放送バンドが切り換わります。

- ① FM
- ② AM

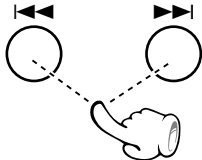
放送バンドの表示



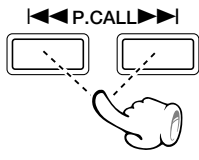
## 2 放送局を選ぶ(先にオートプリセットをします - 31)

記憶させた放送局を聞く時 (プリセットコール)

本体で操作するとき



リモコンで操作するとき



キー(◀▶)を押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▶▶ を押すと... 1 → 2 → 3 ... 38 → 39 → 40 → 1 ...
- ◀◀ を押すと... 40 → 39 → 38 ... 3 → 2 → 1 → 40 ...

● 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

放送局を記憶させていない時

電波の強弱の状態により選局モードを切替えます。

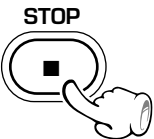
電波の状態が良いとき：

オート選局モード(ステレオ受信)

電波が弱く雑音が多いとき：

マニュアル選局モード(モノラル受信)

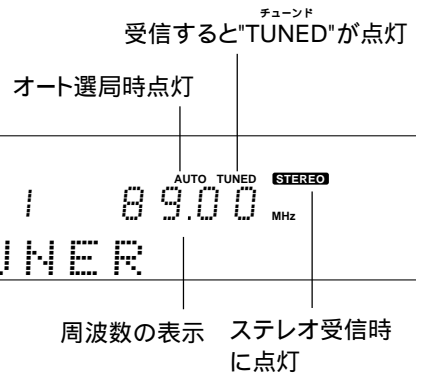
### ① オート選局とマニュアル選局を切り換える



押すたびに切り換わります。

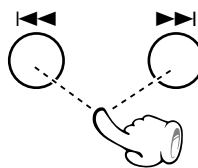
- ① オート選局 ..... "AUTO" 点灯 (通常はオート選局にしておきます。)
- ② マニュアル選局 ..... "AUTO" 消灯

(5秒以内に手順②へ)



● リモコンの数字キーでもプリセットコールができます。

### ② 選局をする



オート選局のとき：

押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

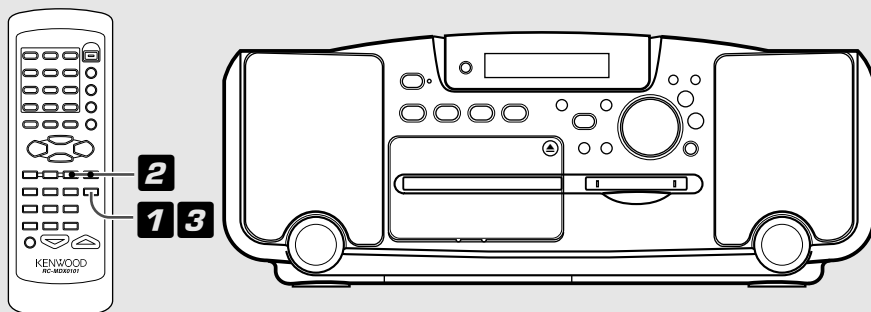
希望する放送局を受信するまで押す。

● リモコンのTUNING (◀▶)キーでも選局できます。



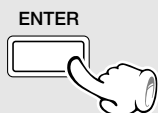
# 放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット)(リモコンのみ)

お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることができます。

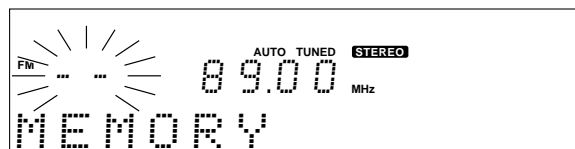


## 1 受信中にENTERキーを押す

エンター

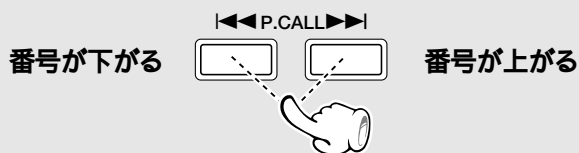


メモリー  
( "MEMORY" 表示中に、手順2へ )



メモリー  
"MEMORY"表示(約5秒間)

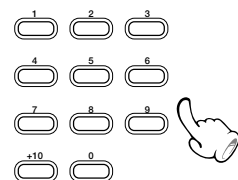
## 2 ◀◀、▶▶ キーで"プリセットナンバー"を選ぶ



- 最大40局まで放送局を記憶できます。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

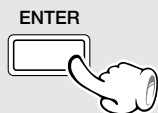
数字キーで選ぶこともできます。  
数字キーを押す順序は

13局目なら. **+10** **3**  
20局目なら. **+10** **+10** **0**

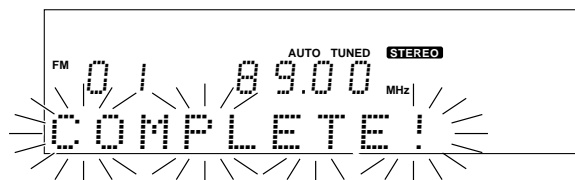


## 3 もう一度ENTERキーを押す

エンター



(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順1, 2, 3を繰り返す)



チューナーの周波数表示について(リモコンのみ)  
タイム ディスプレイ  
TIME DISPLAY キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

① FM 01 76.10 MHz (周波数表示)  
② AM 8:45 (時刻表示)

テレビ放送(1ch ~ 3ch)の受信について  
周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき.....95.75MHz
- 2chのとき.....101.75MHz
- 3chのとき.....107.75MHz

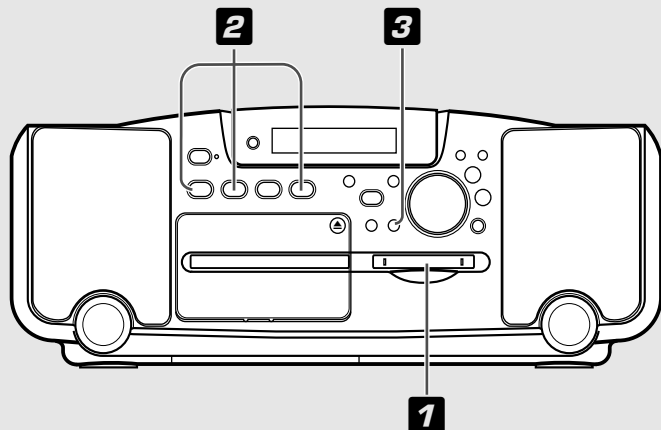
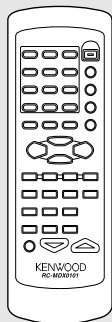
- テレビ放送はモノラル受信になります。



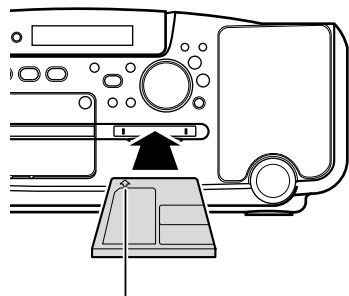
## MDに録音する

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



## 1 録音の準備をする



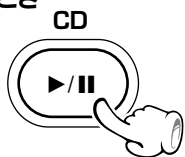
矢印の方向に入れる

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → 56
- ② ミニディスクを入れる

**注意** スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れると、故障の原因となります。

## 2 何を録音するか選ぶ

例: CDを選ぶとき



チューナー TUNER(放送)	:アナログ録音
CD	:デジタル録音
テープ TAPE	:アナログ録音

CD

文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやTAPEが入っているときは、再生が始まりますのでSTOP■キーを押して止めます。

## 3 録音を始める



MD REC

- ① MD REC <sup>レック</sup>キーを押す(録音ポーズ状態になります)
- ② 準備ができていれば、もう一度MD REC <sup>レック</sup>キーを押す
- ③ 録音する音楽ソースを再生(受信)する

- CDからの録音は、"ワンタッチ録音"が便利です。 → 38

- 録音中には震動や衝撃を加えないでください。
- MDに録音中はTAPEへの録音はできません。

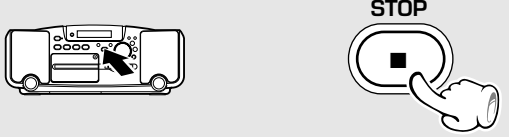
## 録音を一時停止する



- トラック番号は"1"繰り上がります。再び録音を始めるときは、もう一度押します。
- "MD REC" キーを押しても録音を始めることができます。



## 録音を停止する



ライティング  
 "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
 "WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

## 録音時のトラックナンバーについて

録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上がりません。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたときも、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除できます。もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



- CDからのデジタル録音では、曲の切り替わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。



CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す"(TRACK ERASE)または"全曲消す"(ALL ERASE)を参照して削除してください。

→ 48

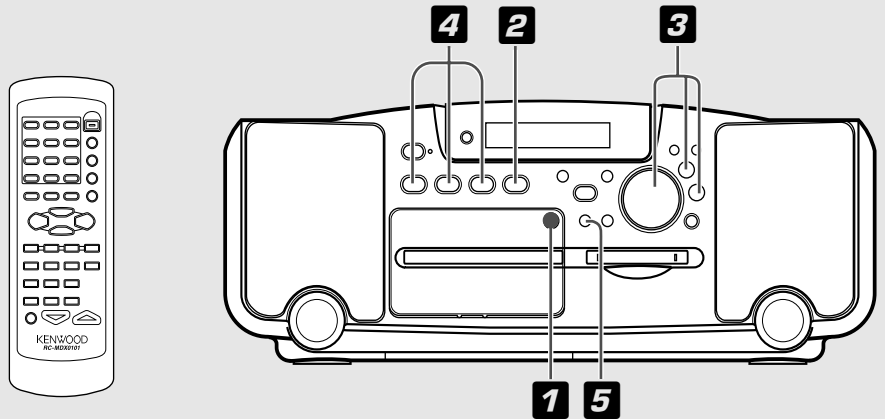
## ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

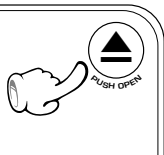
- |  |                     |                 |      |
|--|---------------------|-----------------|------|
| "DISC FULL"<br><small>ディスク フル</small>  | : ミニディスクがいっぱいになっている | → 不要な曲を消す       | → 48 |
| "PROTECTED"<br><small>プロテクト</small>    | : 誤消去防止つまみが開いている    | → 閉める           | → 56 |
| "PLAY ONLY"<br><small>プレイ オンリー</small> | : 再生専用ミニディスクである     | → 録音用ミニディスクを入れる |      |

# テープに録音する

本機はハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)での録音はできません。



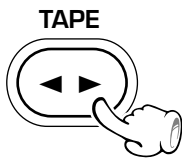
## 1 録音の準備をする



- ① カセットホルダーを開ける
- ② テープを入れる
- ③ カセットホルダーを閉める

● テープは、たるみのない状態で入れてください。

## 2 テープの進む向きを選ぶ



走行方向を逆にしたい場合

- ① 再生する
- ② もう一度キーを押す
- ③ 停止キー(■)を押す  
(◀または▶点灯)

● 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。  
● テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

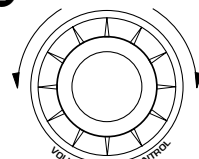
## 3 録音条件を決める

リバースモードを選ぶ → 30

### ① テープ リバース TAPE RVS. を選ぶ



### ②



### ③



## 4 何を録音するか選ぶ

TAPE以外を選ぶ



例: CDを選ぶ時

チューナー  
TUNER(放送)  
CD  
MD

CD

文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます

● すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますのでSTOP■キーを押して止めます。

## 5 録音を始める



- ① テープ レック TAPE RECキーを押し、録音を始める
- ② 録音したい入力ソースを再生(受信)する

● 録音レベルは自動的に調整されます。  
● 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。  
● TAPEに録音中はMDへの録音はできません。


## 録音を一時停止する



● 録音中に、テープ レック TAPE REC キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)



## 録音を停止する



● テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

- テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

## CDから録音するときのポイント

CDを録音するときは、カセットデッキを録音一時停止状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます。(シンクロ録音機能)

- ① 再生するCDを一時停止にする
- ② 録音したい曲をスキップキー(◀◀ ▶▶)で選ぶ(選んだ曲の初めで一時停止になります)
- ③ カセットデッキを録音一時停止状態にする  
TAP E REC キーを続けて2回押すと、録音一時停止になります
- ④ CDの再生を始める  
(シンクロ録音が始まります)

- 停止キー(■)を押すと、録音を中止します。  
MDからも同様の手順でシンクロ録音できます。

## ワンタッチ録音 (CD MD / CD TAPE)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

MD、TAPEの同時録音はできません。

MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

### 1 録音の準備をする

#### CD MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

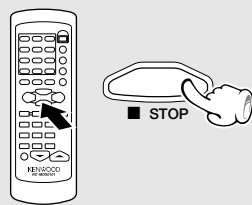
#### CD TAPEのとき

- ① "テープに録音する"の手順 ① ~ ③までを行なう  
→ 36
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

### 2 CDの再生状態を確認する

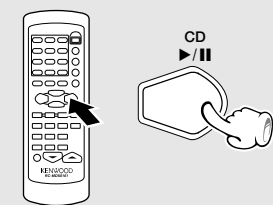
#### 全曲録音

再生中の時は停止させる



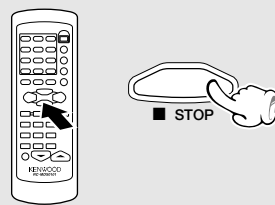
#### 1曲録音

好きな曲を選びCDを再生する



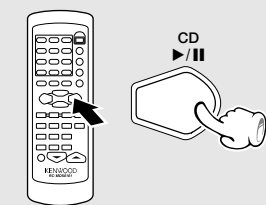
#### 全曲録音

再生中の時は停止させる



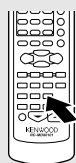
#### 1曲録音

好きな曲を選びCDを再生する

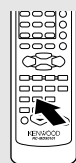


- "ワンタッチ録音(1曲録音)"を使用して他の曲を録音するには、手順 ②、③ を繰り返します。
- CDランダム再生中はワンタッチ録音できません。

### 3 録音を始める



MD O.T.E.

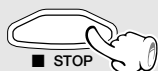
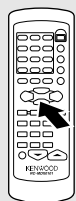


TAPE O.T.E.



- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- "ワンタッチ録音(1曲録音)"をした時は、MD O.T.E. または、TAPE O.T.E. キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 本体でもMENUキーを使って"REC MODE"を選択することにより、同様の録音ができます。

### 録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

### 録音が終了すると.....

- |         |  |
|---------|--|
| CDプレーヤー | : ワンタッチ全曲録音のとき<br>→ 停止します<br>ワンタッチ1曲録音のとき<br>→ 一時停止します |
| MDレコーダー | : 停止後、WRITING表示  |
| カセットデッキ | : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します                                 |

ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

# プログラム録音(CD MD / CD TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDまたはテープに録音することができます。

MD、TAPEの同時録音はできません。

録音の準備が必要です。→ 34 → 36 (MDレコーダー、カセットデッキは、必ず停止状態にしてください)

## 1 CDの曲順をプログラムします

### CD MDのとき

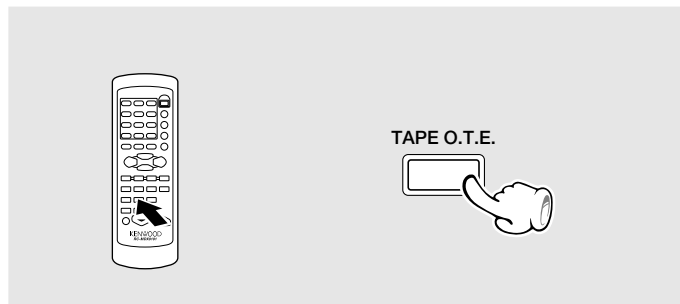
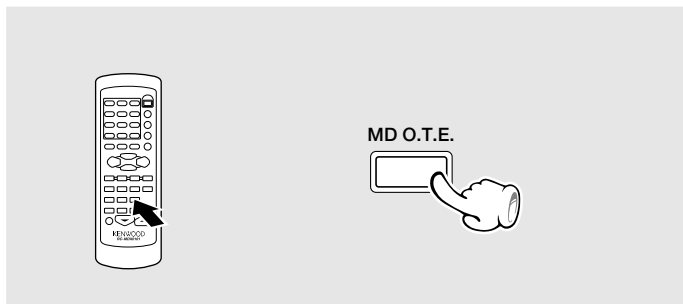
CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②を行う。 → 20

### CD TAPEのとき

CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~②を行う。 → 20

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- MDやテープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

## 2 録音を始める



- プログラムした曲順に録音を開始します。
- 録音開始する時は、リモコンの MD O.T.E. キーと TAPE O.T.E. キーは、間違えないようにしてください。
- 本体でもMENUキーを使って"REC MODE"を選択することにより、同様の録音ができます。

## 録音を途中でやめるには



録音が終了すると.....

CDプレーヤー	: 停止します
MDレコーダー	: 停止後、WRITING表示
カセットデッキ	: 約4秒の無録音部分を作ってから停止します

ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

# プログラム録音(MD TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

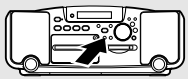
録音の準備が必要です。→ 36 (カセットデッキは、必ず停止状態にしてください)

## 1 MDの曲順をプログラムします

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順  
1~4を行う。 → 27

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

## 2 テープ レック TAPE REC キーを2回押し録音一時停止状態にする



(2回押し)



TAPE REC

## 3 MD ▶/|| キーを押す(録音を始める)

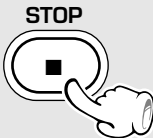
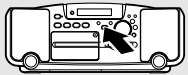


MD



- MDのプログラム再生を始めるとシンクロ録音がスタートします。

## 録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します)

### 録音が終了すると.....

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| MDレコーダー | : 停止します                |
| カセットデッキ | : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します |



# MDの編集機能

## ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)ができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

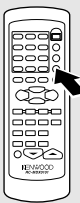
MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。  
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

入力切換を"MD"にする。(停止、または再生中に操作してください) → 23

### 1 タイトル入力状態にする

タイトル インプット

① TITLE INPUTキーを押す

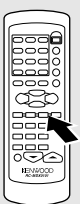


TITLE INPUT

② 曲(トラック番号)を選ぶ  
(曲にタイトルを付けるとき)

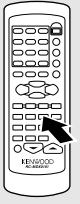
トラック番号  
が下がる

トラック番号  
が上がる



◀◀ P.CALL ▶▶

③ <sup>セット</sup> SETキーを押す



SET

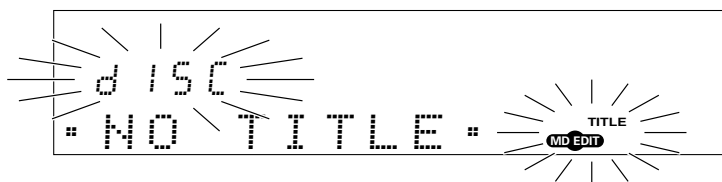
中止するときは、もう一度TITLE INPUT キーを押します



ディスクタイトルをつける場合は停止状態で行ないます。

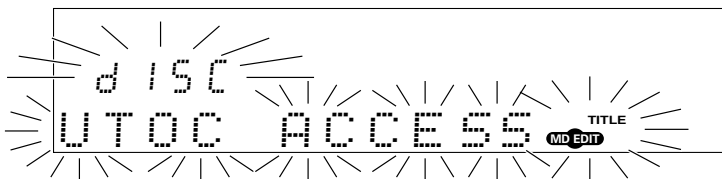
曲にタイトルをつける際、手順 1 の ③ の前に MD ▶/|| キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



#### ディスクタイトルのとき

"dISC"の表示にします



#### トラックタイトルのとき

目的のトラック番号を選びます



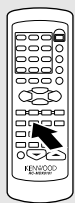
#### 入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(クリアー/デリート)をご利用ください。

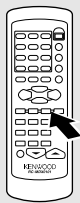
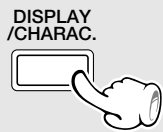
→ 43

操作編

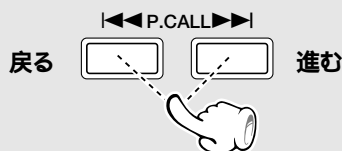
## 2 タイトルを入力する



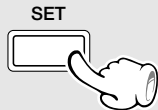
① 入力する文字のグループを選ぶ



② 目的の文字を選択カーソルに合わせる



③ SETキーを押して選んだ文字を確定する



① ~ ③を繰り返して、タイトルを入力します。

次のような種類の文字や数字、記号が選べます。

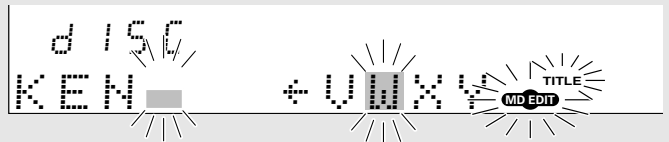
ディスプレイ/キャラクター  
DISPLAY/CHARAC. キーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A~Z と、スペース(1文字分の空白)
- a~z と、スペース
- 0~9 と、各種記号と、スペース
- カタカナと、スペース

- ◀▶ キーを押すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

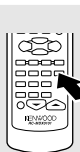
登録されている各種記号 (ASCIIコード) 一覧:  
!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@ [space]

ミニディスクタイトルの例

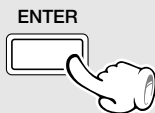


カーソルが移動、次の文字入力待ち

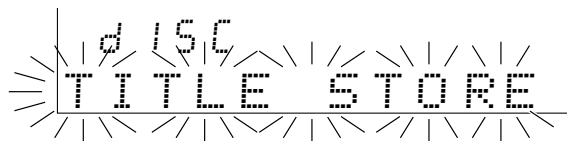
## 3 タイトル入力を実行する



① ENTERキーを押す

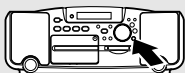


② TITLE INPUTキーを押す



←タイトルがスクロールします

## 4 編集終了後、ミニディスクを取り出す



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

# タイトルを変更、消去する

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報をもとに動作します。  
 タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

ライティング  
 "WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
 "WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

入力切換を"MD"にする。(停止中に操作してください) → 23

## 1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1 を行なう

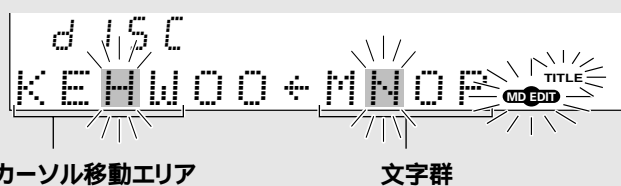
→ 41

## 2 1文字ずつ変更していく

- カーソルを変更する文字に合わせる
- 文字グループを選ぶ
- "上書き"または"挿入"モードを選ぶ
- 正しい文字を選ぶ
- SETキーを押して文字を確定する

(手順①～⑤の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます)

入力カーソルは、◀◀, ▶▶ キーで移動できます。



● 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀, ▶▶ キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていた部分が現われます。

タイトル サーチ TITLE SEARCH キーを押すたびに切り換わります。

- ① 上書きモード: 文字を入れ替えるとき (カーソル "■" が大きくなる)
- ② 挿入モード: カーソルの前に文字を入力するとき (カーソル "■" が小さくなる)

## 消去(削除)するとき

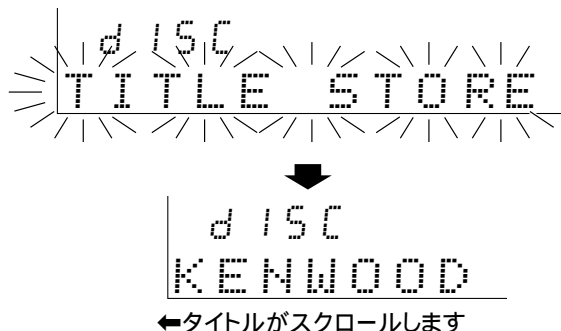
- カーソルを消去(削除)する文字に合わせる
- 文字を消去(削除)する



● カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、後の文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにする)と、簡単にタイトルを消去できます。

## 3 タイトルの変更を実行する

- ENTERキーを押す
- TITLE INPUTキーを押す

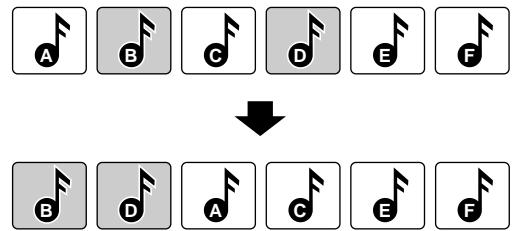


編集終了後は、必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

# 曲をまとめて移動する (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて最大20曲を移動できます。

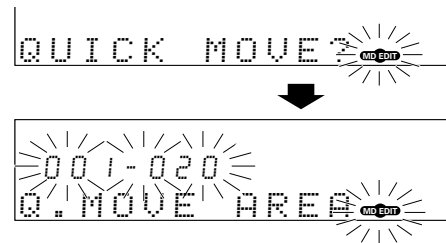
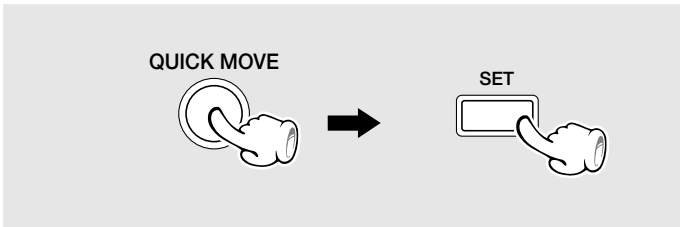
曲をまとめて移動するイメージ



入力切換を"MD"にする。(停止中に操作してください) → 23 各操作は表示が点滅中に行ってください。

## 1 QUICK MOVE キー、SETキーの順に押す

中止するときは、もう一度 QUICK MOVE キーを押します

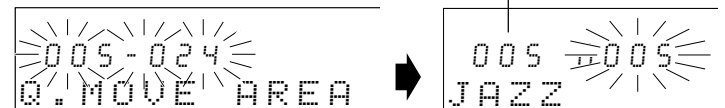
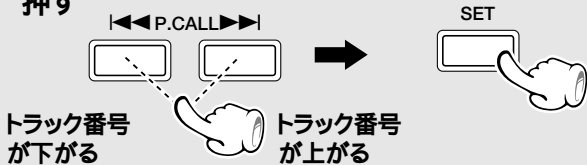


## 2 移動する範囲の最初のトラック番号をいれる

移動する範囲の最初のトラック番号を選び、SETキーを押す

トラック番号  
20曲(移動できる範囲)

移動範囲最初の  
トラック番号



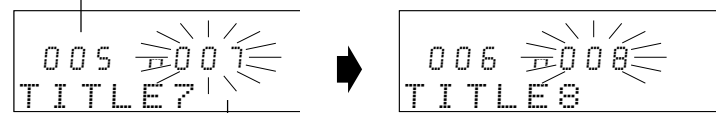
## 3 希望の曲順に並べ替える

(例)

トラック番号7番の曲を5番(移動範囲の最初)に移動  
移動先のトラック番号

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す

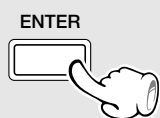
トラック番号  
が下がる      トラック番号  
が上がる



移動元の曲番号

- トラック番号をセットする度に順に移動していきます。
- ◀▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。

## 4 曲の移動を終了(確定)する



COMPLETE !

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。

## 5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

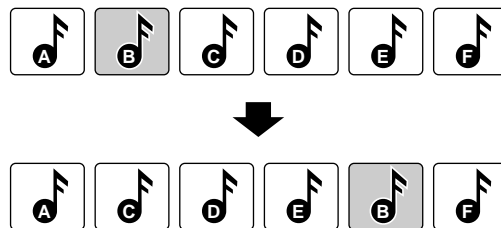
ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

トラック ムーブ

# 曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動挿入します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



入力切換を"MD"にする。(停止中に操作してください) → 23 各操作は表示が点滅中に行ってください。

## 1 "MOVE?"を選ぶ

ムーブ

① TRACK EDITキーを押す



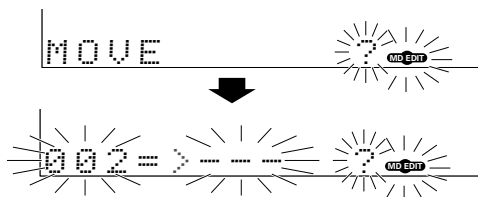
② SETキーを押す



中止するときは、もう一度 TRACK EDIT キーを押します

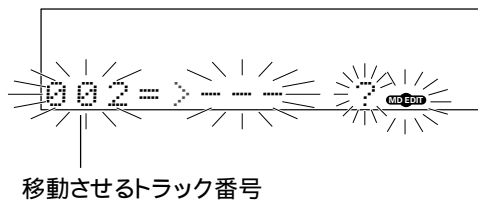
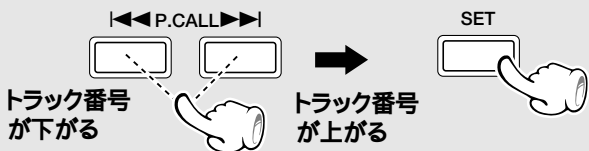
押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除



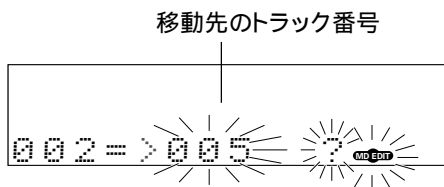
## 2 移動する曲を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す。

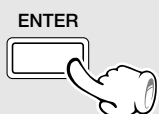


## 3 移動先を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す。



## 4 曲順の入れ替えを終了(確定)する



COMPLETE !

● 処理が終了するまで、少し時間がかかります。

## 5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

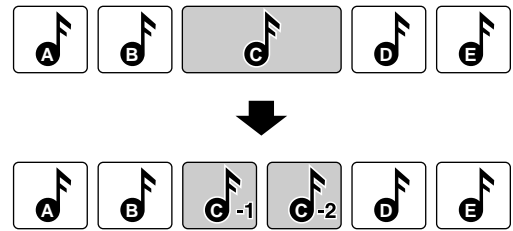
ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

# 曲を分ける (TRACK DIVIDE)

トラック ディバイド

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

曲を分けるイメージ



入力切替を"MD"にする。(各操作は表示が点滅中に行ってください) - 23

## 1 分割したい曲を再生する

- 一時停止中にも編集できます。

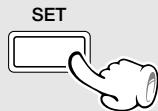
トラック エディット

## 2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

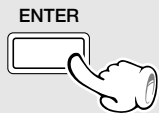
トラック エディット ディバイド  
① TRACK EDITキーを押し、"DIVIDE"を選ぶ



セット  
② SETキーを押す



## 3 曲の分割を終了(確定)する



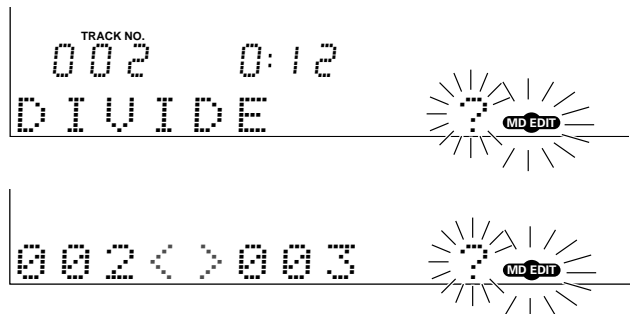
## 4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

中止するときは、もう一度TRACK EDIT キーを押します

押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



COMPLETE !

- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトルになります。
- [1] ~ [4]を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

ライティング

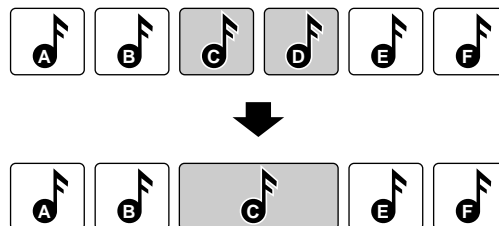
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいきますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

# 曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック コンバイン

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

曲をつなぐイメージ



入力切換を"MD"にする。(各操作は表示が点滅中に行ってください) - 23

## 1 "COMBINE?"を選ぶ

中止するときは、もう一度TRACK EDITキーを押します

ミニディスクの最初の曲の再生中には"COMBINE?"を選べません。

① TRACK EDITキーを押し、  
"COMBINE"を選ぶ



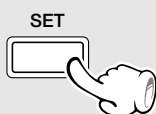
停止中

押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除



② SETキーを押す



再生中

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



再生中に曲をつなぐ場合は、手順 3へ

- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDIT キーを押してください。

## 2 つなぎたい曲を選ぶ

曲(トラック番号)を選び、SETキーを押す

① ◀◀P.CALL▶▶



トラック番号  
が下がる



トラック番号  
が上がる

② SET



- つなぐ前半の曲は2秒以上必要です。
- つないだ曲は、前半の曲のトラック番号とタイトルが付きます。後の曲のトラック番号は自動的に調整されます。

## 3 曲の結合を終了(確定)する

ENTER



COMPLETE !

## 4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、編集終了後、取り出し操作をしたときに情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。

ライティング

"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

トラック イレース

オール イレース

# 1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

## 1曲消す場合 (TRACK ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調整されます。  
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

## 全曲消す場合 (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

入力切換を"MD"にする。(各操作は表示が点滅中に行ってください) - 23

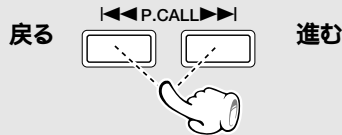
### 1 準備をする

#### 1曲消す (TRACK ERASE) のとき

① 再生状態にする



② 消したい曲を選ぶ



#### 全曲消す (ALL ERASE) のとき

(停止状態にします)



### 2 TRACK EDIT キーを繰り返し押す

トラック エディット

"ERASE?" を選ぶ



押すたびに切り換わります。

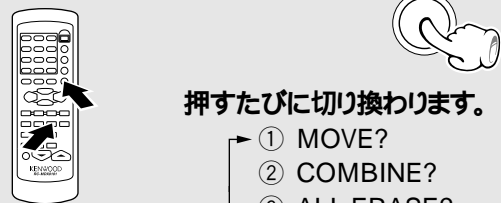
- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



中止するときは、もう一度 TRACK EDIT キーを押します

① "ALL ERASE?" を選ぶ

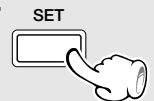
TRACK EDIT



押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除

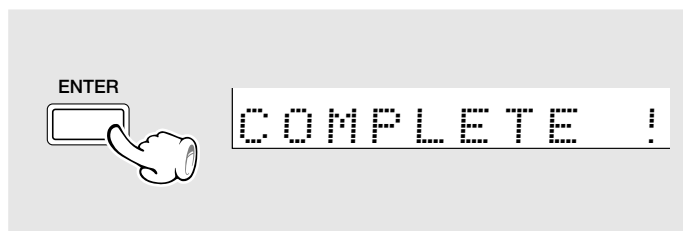
② SET キーを押す



次ページに続く →



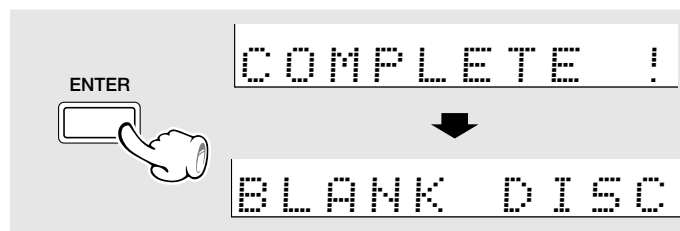
### 3 消去を実行する



- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)

### 4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。  
タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してWRITINGしてください。



- ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。  
"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。

## 目覚ましタイマー(O.T.T.):

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。

## タイマー再生、タイマー録音( プログラム PROG.1, プログラム PROG.2 ):

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

## AI タイマー再生( プログラム PROG.1, プログラム PROG.2 ):

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。

## おやすみタイマー(SLEEP):

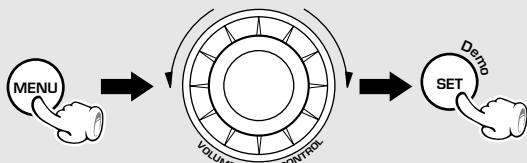
設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

## 目覚ましタイマー(O.T.T.)を設定する

時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

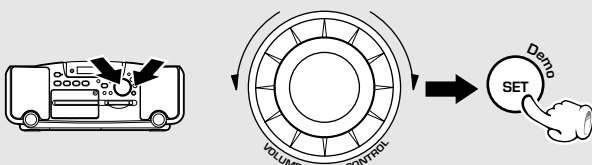
① 聴きたいソースを選び、音量を設定する

② "TIMER SET ?"を選ぶ



"?" マークが点滅中に  
セット デモ  
SET/Demoキーを押す

③ "O.T.T. SET ?"を選ぶ

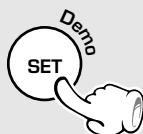


④ オン時刻をセットする

時刻が戻る 時刻が進む



⑤ SET/Demoキーを押す



⑥ O.T.T.を実行する

"タイマーの実行と解除" の、手順

①と③を行います。

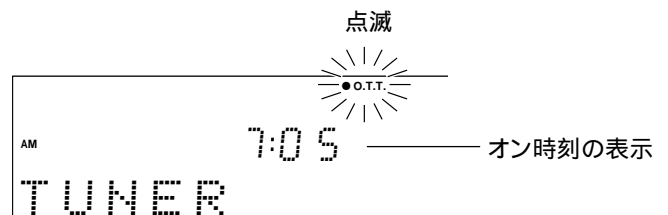
廻すたびに表示が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
AUTO PRESET	(TUNERのみ)
<b>TIMER SET</b>	<b>?</b>
A.P.S. SET	?

廻すたびに表示が切り換わります。

①	<b>O.T.T. SET</b>	<b>?</b>
②	PROG. 1 SET	?
③	PROG. 2 SET	?

● オン時刻は、5分単位で設定できます。



● SET/Demoキーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

# プログラムタイマーを設定する

プログラム  
2系統 (PROG.1, PROG.2) の24時間タイマーです。(毎日働きます)  
PROG.1, PROG.2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、実行させます。

## 1 聴く録音するための準備をする

**CDを聴く**

ディスクを入れる。  
(プログラム再生はできません)

**MDを聴く**

ミニディスクを入れる。  
(プログラム再生はできません)

**テープを聴く**

テープをセットする。

**ラジオを聴く**

放送局をプリセットしておく。  
→ 31 → 33

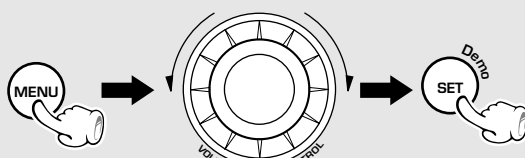
**録音する**

録音の準備をする。  
MD → 34  
TAPE → 36

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

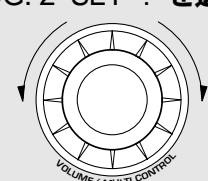
## 2 プログラム番号を選ぶ

タイマー セット  
① "TIMER SET ?" を選ぶ

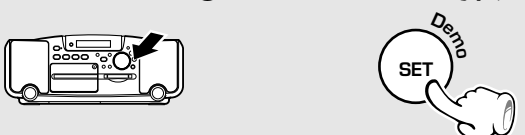


"?" マークが点滅中に  
セット デモ  
SET/Demoキーを押す

プログラム セット  
② "PROG. 1 SET ?" または  
"PROG. 2 SET ?" を選ぶ



③ SET/Demoキーを押す



(プログラム内容の表示中に押す)

廻すたびに表示が切り換わります。

→ TAPE RVS.	?
→ REC MODE	?
→ AUTO PRESET	(TUNERのみ)
→ <b>TIMER SET</b>	<b>?</b>
→ A.P.S. SET	?

廻すたびに表示が切り換わります。

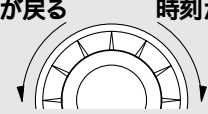
①	O. T. T. SET	?
②	<b>PROG. 1 SET</b>	<b>?</b>
③	<b>PROG. 2 SET</b>	<b>?</b>

- 選んだプログラム番号が点灯します。



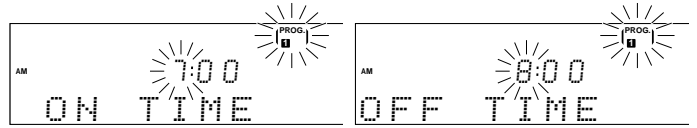
次ページに続く →

### 3 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

**① 時刻を合わせる**  
時刻が戻る      時刻が進む



**② SET/Demoキーを押す**

- オン時刻とオフ時刻ともに**①**、**②**の手順を行ない"時間"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順**②**からやり直してください。

### 4 希望の予約を設定する

#### タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

**① モードを選ぶ**  
プレイ  
(1) "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ  
(2) SET/Demoキーを押す

**② 入力ソースを選ぶ**  
(1) 何を聴くか選ぶ  
(2) SET/Demoキーを押す

**③ 放送局を選ぶ(チューナー時のみ)**  
(1) プリセットチャンネルを選ぶ  
(2) SET/Demoキーを押す

**④ プログラムタイマーを実行する**  
"タイマーの実行と解除"の、手順**①**と**②**を行います。 → 53

① PLAY ..... タイマー再生  
② TUNER REC  
③ AI PLAY ..... だんだん音が大きくなるタイマー再生

① チューナー TUNER ..... 放送  
② CD  
③ MD  
④ TAPE

● SET/Demoキーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

#### タイマー録音をするとき

**① モードを選ぶ**  
(1) "TUNER REC"を選ぶ  
① PLAY  
② TUNER REC  
③ AI PLAY  
(2) SET/Demoキーを押す

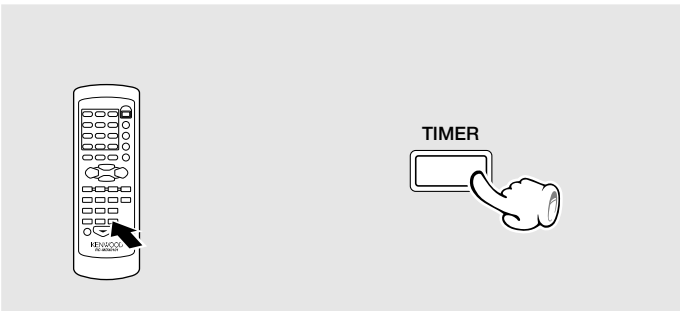
**② 放送局を選ぶ**  
(1) プリセットチャンネルを選ぶ  
(2) SET/Demoキーを押す

**③ 録音する機器を選ぶ**  
(1) 選ぶ  
① MD REC  
② TAPE REC  
(2) SET/Demoキーを押す  
● SET/Demoキーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

**④ プログラムタイマーを実行する**  
"タイマーの実行と解除"の、手順**①**と**②**を行います。 → 53

# タイマーの実行と解除

## 1 働かせたいプログラム番号をセットする(リモコンのみ)

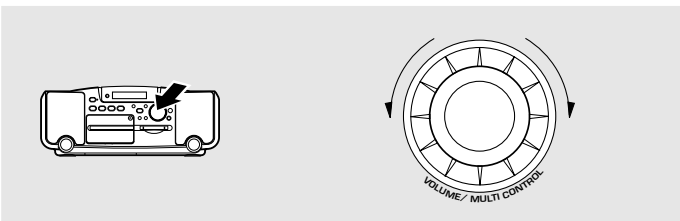


押すたびに切り換わります。

- ① O.T.T. .... O.T.T.のみ実行
- ② PROG.1 ..... プログラム1のみ実行
- ③ PROG.2 ..... プログラム2のみ実行
- ④ PROG.1, 2 ..... プログラム1と2の両方を実行
- ⑤ 表示消灯 ..... タイマー オフ

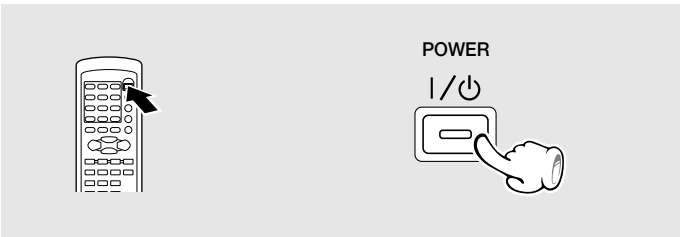
- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

## 2 音量を調節する



- AI PLAYを選んだ時は、音量は自動設定されます。
- タイマーで録音するとき、タイマーがオンになると、自動的にミュート(消音機能)がオンになります。

## 3 スタンバイ状態(POWERキーでオフ)にする



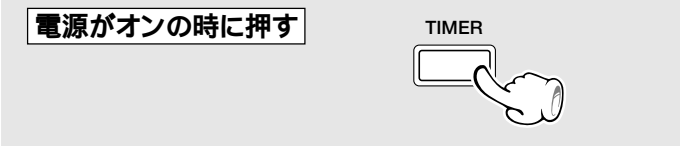
タイマーがセットされて、スタンバイ状態になると "STANDBY/TIMER"表示灯が黄色に点灯します。

- タイマー設定後、電源がスタンバイ中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときまたは、タイマーの設定内容に誤りがある場合は、STANDBY/TIMERインジケータが黄色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせとタイマー設定をやり直してください。 → 14

タイマーを働かせたくないとき

プログラム表示をすべて消灯させる

電源がオンの時に押す



O.T.T.タイマーの場合



- 予約内容は記憶しています。

- 予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

## おやすみタイマー(SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します



時間を設定する

解除するには

SLEEPキーを解除になるまで押す。

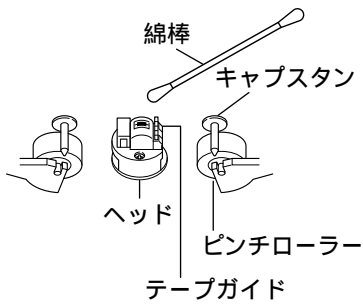
- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....



## メンテナンス

### ヘッドのお手入れ



#### ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

#### ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

### 接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

## 参考

### 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

### 輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

- ① CD、MDを取り出します。
- ② MD ▶/|| キーを押す。
- ③ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

```
MD NO DISC
```

- ④ CD ▶/|| キーを押す。
- ⑤ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

```
CD NO DISC
```

- ⑥ 数秒間待って、電源をオフにします。

### 著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

メモリーバックアップ	
電源プラグをコンセントから抜くと消える、メモリーの内容	時計表示(10分で消える) MDレコーダー部 (すぐに消える)
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	<b>アンプ部</b> 電源の状態 (オンまたはスタンバイ) 入力切換 ボリューム値 トーンコントロール値 <b>チューナー部</b> 受信バンド 周波数 プリセット放送局 オート選局の設定 <b>カセットデッキ部</b> テープ走行方向 テープイコライザー リバースモード タイマーの設定内容

### ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

### 社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー11F

電話 (03) 5353-0336 (代表)  
FAX. (03) 5353-0337

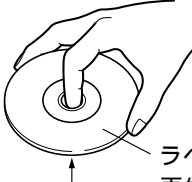
# ディスクの取り扱いかた

## 本機で使用できるディスクについて

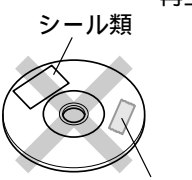
CD (12cm、8cm)、CDVとCD-G (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

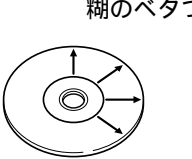
## ディスク取扱上のご注意




**取り扱い**  
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



**お手入れ**  
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



**保存**  
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。


## 異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

## ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

## レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて



クランピング  
エリア

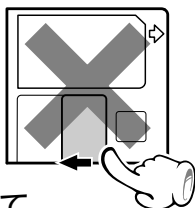
図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

## ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

### ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。  
無理に開けるとこわれます。



### 置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

### ほこり対策について

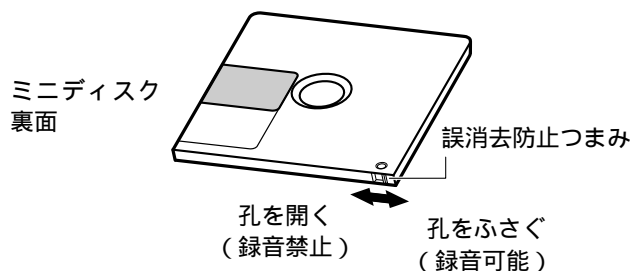
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。  
従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

### お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

### 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。





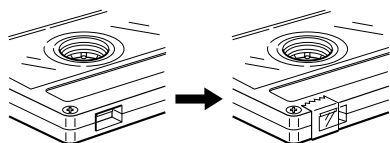
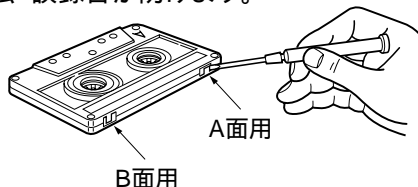
# カセットテープについてのご注意

## カセットテープについてのご注意

### 誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。

誤消去・誤録音が防げます。

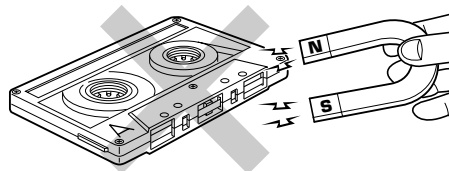


再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

### カセットテープの保管について

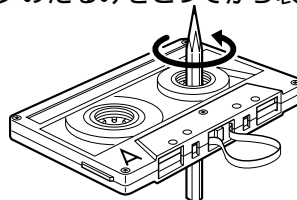
直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。



### テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



### 1. 100分以上のテープについて

100分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

### 2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

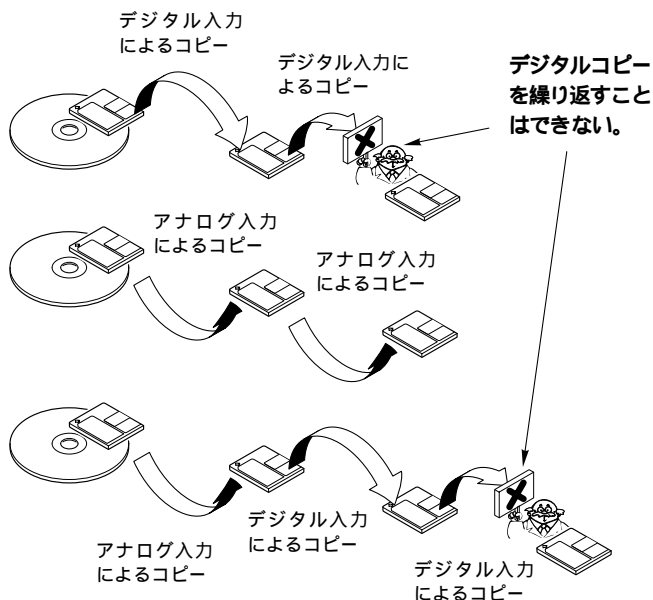
エスシーエムエス

# デジタル録音とSCMSについて

シリアル コピー マネージメント システム

## SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



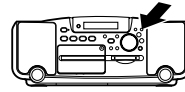
調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、REPEAT <sup>リビート</sup> キーを押しながら、差し込み直す。



REPEAT



### アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を最小にしている。</li> <li>● ヘッドホンプラグが差込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適当な音量にする。</li> <li>● ヘッドホンプラグを抜く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 15</li> <li>- 15</li> </ul>
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し込みが不完全。</li> <li>● 音量を最小にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく差し込む。</li> <li>● 適当な音量にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 15</li> <li>- 15</li> </ul>

### チューナー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 停電があった。</li> <li>● 電源プラグを一度抜いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在時刻をもう一度合わせる。</li> <li>● 現在時刻をもう一度合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 14</li> </ul>
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在時刻を合わせていない。停電があった。</li> <li>● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。</li> <li>● タイマーの実行指定をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "現在時刻を合わせる"をみて現在時刻を合わせる。</li> <li>● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。</li> <li>● リモコンのTIMERキーで実行指定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 14</li> <li>- 52</li> <li>- 53</li> </ul>
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナを接続していない。</li> <li>● 放送バンドが合っていない。</li> <li>● 受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナを接続する。</li> <li>● 放送バンドを合わせる。</li> <li>● 受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 10</li> <li>- 32</li> </ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>● 電気器具の影響によるもの。</li> <li>● テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>● 電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>● テレビから離す。</li> </ul>	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>● もう一度プリセットする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 31</li> <li>- 31</li> </ul>

### リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池切れ。</li> <li>● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>● 再生しようとする機器に、CD、MD、またはカセットテープが入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい電池に入れ換える。</li> <li>● 操作範囲内で操作する。</li> <li>● 再生しようとする機器にCD、MD、またはカセットテープを入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 13</li> <li>- 13</li> </ul>

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイの残り時間表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメイントタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない	● ミニディスクが入っていない。 ● 未録音ミニディスクが入っている。	● ミニディスクを入れる。 ● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	
録音ができない	● ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● 再生専用ミニディスクが入っている。 ● 録音可能なエリアがない。 ● 入力切換えがMDになっている。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ● 録音できません。  ● 録音用ミニディスクを入れる。 ● ミニディスクを入れ換える。 ● 入力切換えを録音したいソースにする。	→ 56 → 57  → 34
音がひずむ	● ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	● 再度録音をする。	
雑音が大きい	● 外部の雑音を誘導している。	● 電気器具、テレビなどから離す。	
電源オン後、表示が一瞬消える	● 電源をオフにして、すぐにオンにした。	● 故障ではありません。	

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源コンセントからプラグを抜くとメモリーは記憶されません。停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されます。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
エムディー ノー ディスク MD NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	
キャント コピー CAN'T COPY	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●録音できません。	
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●一枚のディスクには256曲以上録音できません。	
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ 41
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
ノー トラック NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
リーディング READING	●TOC*1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
ディスク エラー DISC ERROR	●UTOC*2 の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。	→ 48
キャント エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。 ●デジタル録音したトラックと、アナログ録音したトラックをつなごうとした。	●制限範囲内で編集する。 ●デジタル録音部とアナログ録音部はつなげません。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● <sup>エンター</sup> ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが"録音禁止"されている。	●"録音可能"にする。	→ 56
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用のミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。	
ユニット エラー UNIT ERROR	●何らかのトラブルを示します。	●電源をいったんオフにし、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。	

TOCについて

\*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC( Table of Contents )という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

\*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● 光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 56</li> <li>→ 55</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>● ディスクを取り換える。</li> </ul>	→ 56
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが汚れている。</li> <li>● 本機に振動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ディスクの取り扱いかた"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>● 振動のない場所に設置する。</li> </ul>	→ 56

カセットデッキ部

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが汚れている。</li> <li>● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>● 未録音テープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。</li> <li>● テープを交換してみる。</li> <li>● 録音済みテープを使う。</li> </ul>	→ 54
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>● 電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。</li> <li>● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホルダーを完全に閉める。</li> <li>● 4秒以上たってから操作キーを押す。</li> <li>● テープを交換してみる。</li> </ul>	→ 29
▲ <sup>プッシュ</sup> PUSH <sup>オープン</sup> OPEN ボタンを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音中、または再生中に押している。</li> <li>● 外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 停止状態で押す。</li> <li>● マイコンをリセットしてください。</li> </ul>	→ 58
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが汚れている。</li> <li>● テープがのびたり、ワカメ状になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。</li> <li>● テープを交換する。</li> </ul>	→ 54
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが磁気を帯びている。</li> <li>● ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。</li> <li>● テープイコライザーをオンにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 54</li> <li>→ 30</li> </ul>
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットテープのツメが折れている。</li> <li>● カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>● 入力切換が、<sup>テープ</sup>TAPEになっている。</li> <li>● テープがどちらかに巻き取られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。</li> <li>● ホルダーを完全に閉める。</li> <li>● 入力切換を録音したいソースにする。</li> <li>● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 57</li> <li>→ 29</li> <li>→ 36</li> <li>→ 29</li> </ul>

**保証書 (別途添付)**

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保証期間**

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

**修理に関するご相談ならびにご不明な点は**

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。  
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください)

**補修用性能部品の最低保有期間**

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。  
この期間は、通省産業省の指導によるものです。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**シリアル番号について**

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。  
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

**修理を依頼されるときは**

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

**保証期間中は**

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。  
修理に際しましては保証書をご提示ください。

**保証期間が過ぎているときは**

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

**修理料金の仕組み**

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

**出張修理 / 持込修理**

「出張修理」「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名 .....
- 製造番号 (Serial No.) .....
- お買い上げ年月日 .....
- 故障の症状 (できるだけ具体的に) .....
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください) .....
- お名前、電話番号、訪問ご希望日 .....

**お買い上げ店名**

電話(            )            -

## [ アンプ部 ]

実用最大出力..... 4W+4W(EIAJ 4 )

## [ チューナー部 ]

## FMチューナー部

受信周波数範囲 ..... 76MHz ~ 108MHz

## AMチューナー部

受信周波数範囲 ..... 531kHz ~ 1,629kHz

## [ MDレコーダー部 ]

読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り  
(半導体レーザー)

記録方式 ..... 磁界変調オーバーライト方式

音声圧縮方式 ..... ATRAC

D/Aコンバーター ..... 1 Bit

ワウ・フラッター(EIAJ) ..... 測定限界以下

## [ CDプレーヤー部 ]

読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り  
(半導体レーザー)

D/Aコンバーター ..... 1 Bit

サンプリング周波数 ..... 8 fs (352.8 kHz)

周波数特性(EIAJ) ..... 20 Hz ~ 20,000 Hz

ワウ・フラッター(EIAJ) ..... 測定限界以下

## [ カセットデッキ部 ]

トラック方式 ..... 4トラック2チャンネルステレオ

録音方式 ..... 交流バイアス(周波数:105kHz)  
ヘッド

録音/再生ヘッド ..... 1

消去用 ..... 1

モーター ..... DCモーター ×1

早巻き時間 ..... 約100秒(C-60)

## [ スピーカー部 ]

エンクロージャー ..... バスレフ型

スピーカーユニット ..... 80mm コーン型

## [ 電源部・その他 ]

電源電圧・電源周波数 ..... AC100V, 50Hz/60Hz

定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) ..... 33W

待機時消費電力 ..... 0.25W

最大外形寸法 ..... 幅 464mm

高さ 182mm

奥行 243mm

質量(重量) ..... 5.4kg(正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

● 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室(東京)電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9  
(大阪)電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。